

資料編

1. 沼島航路の利用特性を把握するアンケート調査の実施

1.1 調査の目的

洲本線休廃止後の沼島住民の生活への影響を調査するとともに、沼島航路の事業の効率化や確保維持改善に対する方策について検討するため、次の2つの視点からアンケート調査を実施した。

- ・洲本線休廃止に伴う生活への影響（洲本市内への通院や買い物等に関する行動変化の有無）を把握するとともに、灘線の利便性向上に向けた課題の整理を行うため、沼島住民を対象としたアンケート調査を実施した。
- ・沼島の人口が減少し、沼島住民による沼島航路の利用が減少する中、航路の維持や収支改善について検討するため、観光等を目的とした島外からの利用者を対象に、沼島航路の利用実態に関するアンケート調査を実施した。

1.2 調査の概要

(1) 沼島航路の利用に関するアンケート調査（住民アンケート調査）

① 調査対象者

- ・調査対象者は、中学生以上の沼島住民とした。
- ・これは、日常生活において沼島航路を利用する機会があり、自分自身でアンケート調査への回答（記入）が可能と考えられるためである。

② 調査内容

- ・上述の目的を達成するため、次の項目について調査した。
 - ・日常生活における沼島航路の利用状況（利用頻度、利用目的、利用しない場合はその理由）
 - ・沼島航路を利用した外出の状況（行き先、淡路島側での利用交通手段）
 - ・洲本に出掛ける頻度
 - ・洲本線休廃止の影響（休廃止前の洲本線の利用のしかた、休廃止による影響の有無）
 - ・沼島航路の今後の運営のあり方
 - ・沼島航路の利便性向上のための意見（自由記述）
 - ・個人属性（性別、年齢、職業）・・・任意記述
- ・なお、お願い状および調査票は次頁以降に示す。

③ 調査方法

a) 調査票の配布・回収方法

- ・沼島地区自治会の協力を得て、自治会を通じて沼島島内の全世帯に調査票を配布し、自治会を通じて回収した。

- ・また、南あわじ市および沼島汽船株式会社の協力を得て、沼島汽船・沼島港乗船券発売窓口の前に調査票回収箱を設置し、回収箱に投函する形でも調査票を回収した。

b) 調査対象者の選定方法

- ・調査票は各世帯に3通ずつ配布し、世帯人数に応じて次のように調査対象者を定めた。

＜中学生以上の世帯人数が3人以下の世帯＞

- ・中学生以上の世帯構成員全員に回答を求めた。

＜中学生以上の世帯人数が4人以上の世帯＞

- ・中学生以上の世帯構成員のうち、年長者から順に3人に回答を求めた。

④ 実施時期

- ・平成28年11月1日頃、南あわじ市の広報誌配布に合わせて調査票を配布し、11月11日を締切として回収した。

⑤ 有効サンプル数

- ・調査票は220世帯に配布し、114世帯・214人から有効回答を得た。
- ・世帯の回収率は51.8%であった。世帯および個人の回収数は表-7のとおりである。

表-7 調査票の回収数

回収票数	世帯数	回答者数
1票	37	37
2票	54	108
3票	23	69
合計	114	214

注1：回収票数とは、封筒に入っていた調査票の数である。

注2：白紙に極めて近い回答が1世帯3票あったが無効とした。

(2) 沼島航路利用実態調査

① 調査対象者

- ・沼島航路利用者のうち、沼島以外に居住する人を調査対象とした。
- ・ただし、島外から沼島に通勤している人は対象外とした。

② 調査項目

- ・前述の目的を達成するため、次の項目について調査した。
 - ・沼島への来訪について（来訪目的、来訪回数、滞在日数、同行者の属性）
 - ・淡路島側での利用交通手段
 - ・沼島に対する満足度
 - ・沼島および沼島航路に関する自由意見

- ・個人属性（性別、年齢、居住地）（任意記述とした）
- ・なお、調査票を次頁以降に示す。

③ 調査方法

- ・沼島港で乗船する際に調査票（A6判＝はがき大のカード）と筆記具（クリップペンシル）を手渡しで配布し、船内にて記入していただき、土生港での下船時に回収した。
- ・調査対象者の見極め（居住地が沼島島内か島外かの判断）については、次のいずれかの方法によった。
 - ・沼島汽船の船員の助言
 - ・利用券種（乗船時の改札の際に確認、券の色で島民割引と普通乗船券を区別するなど）
 - ・乗船する人への聞き取り

④ 調査日

- ・観光や海水浴、鰻料理などで島外からの利用が多い8月・9月を実施時期とし、平日・休日各1日について全便を対象に調査を実施した。

[平日調査日] 平成28年8月10日（水）

[休日調査日] 平成28年9月11日（日）

⑤ 有効サンプル数

- ・調査票は調査対象者の全員に配布することを試み、数名を除いて調査票を配布することができた。有効回収数は表-8のとおりである。

表-8 調査日・便別の回収数

便名	沼島 発時刻	8月10日 (水)	9月11日 (日)
1便	6:20	0	0
2便	7:25	0	2
3便	8:30	5	4
4便	9:50	16	4
5便	11:20	11	28
6便	13:20	22	14
7便	14:40	23	43
8便	16:00	26	27
9便	17:40	12	18
10便	18:30	2	3
合計		117	143

注：次に示すサンプルは表には含まれていない。

8月10日8便にて出航間際の乗船のため調査票未配布5名

8月10日6便・8便にて未回収各1名

9月11日5便にて受取拒否4名

9月11日6便にて白紙回答3名

沼島航路の利用に関するアンケート調査のお願い

日頃より、国土交通行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、平成 28 年 4 月に沼島汽船・洲本線（沼島～洲本）が休止、半年が経過した 9 月末をもって廃止されました。国土交通省では、洲本線の休廃止に伴う利用者への影響を把握するとともに、今後の沼島汽船の利便性向上について検討するための参考資料を得るため、沼島にお住まいの方にアンケート調査を実施することとなりました。

ご多用中とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力下さいますよう、お願いいたします。

※ アンケート調査票は 3 枚入っています。ご家族のうち、中学生以上の方、全員にアンケートへの回答をお願いします。

ご家族が 4 人以上の世帯では、年長の方 3 人に回答をお願いします。

ご記入いただいたアンケート票は、調査票などが入っていた封筒に入れて、**11 月 11 日まで**に各地区自治会長様にお渡しいただくか、沼島汽船・沼島側の乗船券販売窓口の「アンケート用紙回収箱」に入れて下さい。

なお、ご記入いただいた内容は全て統計的に処理し、個別に公表することはありません。また、ご記入いただいた個人情報等は厳格に管理し、他に用いることは一切ありません。

アンケート調査の実施に際し、各地区自治会長様にはアンケート票の配布及び回収のみについて、ご協力をいただいております。

アンケートに関するご質問がございましたら、お手数ですが下記の問い合わせ先にご連絡をいただきますようお願いいたします。

調査実施主体：国土交通省神戸運輸監理部企画課

調査に関する問い合わせ先：株式会社シティプランニング

担当：岸野、後藤

電話：075-344-5561

沼島航路の利用に関するアンケート調査

■ 平日の沼島航路の利用についてお尋ねします。

問1 あなたは、平日にどのくらいの頻度で沼島航路を利用しますか？（○は一つだけ）

1. ほぼ毎日 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に2～3日 5. 月に1日
6. 年に数回 7. それ以下・全く利用しない

→ 問2に進んで下さい

→ 問3に進んで下さい

問2 問1で1.～5. に○をつけた方にお尋ねします。...

(1) あなたは、平日にどのような目的で沼島航路を利用しますか？（○はいくつでも）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 定期的な通院 5. 親戚・友人等の訪問 6. 遊び・娯楽
7. その他の私用 8. 仕事・業務（通勤を除く） 9. その他（ ）

(2) あなたは、平日に沼島航路を利用してどこに行かれますか？

日常的によく行かれる行き先の番号に○をつけて下さい。（○はいくつでも）

1. 灘 2. 阿万・北阿万 3. 福良 4. 賀集（イオン、ららウォークなど）
5. 神代（中林病院など） 6. 市・八木（市役所、八木病院など）
7. これら以外の南あわじ市内 8. 洲本市 9. その他（ ）

(3) あなたは、土生港で船を降りてから、(2)で答えていただいた行き先まで、平日はどのような交通手段で行かれますか？ よく利用する交通手段を選んで○をつけて下さい。（○はいくつでも）

1. 車を自分で運転 2. 誰かの車に同乗 3. らん・らんバス、路線バス 4. タクシー
5. バイク・原付 6. 自転車 7. その他（ ）

問3 問1で6.～7.に○をつけた方にお尋ねします。...

平日に沼島航路をほとんど（全く）利用しないのは、どのような理由からですか？（○は一つだけ）

1. 沼島を出る機会がほとんど（全く）ない 2. 自船など沼島航路とは別の移動手段がある
3. その他（ ）

■ 休日（土・日・祝日）の沼島航路の利用についてお尋ねします。

問4 あなたは、休日にどのくらいの頻度で沼島航路を利用しますか？（○は一つだけ）

1. 月に5日以上 2. 月に3～4日 3. 月に1～2日 4. 1～2ヶ月に1日
5. 年に数回 6. それ以下・全く利用しない

→ 問5に進んで下さい

→ 問6に進んで下さい

問5 問4で1.～4. に○をつけた方にお尋ねします。...

(1) あなたは、休日にどのような目的で沼島航路を利用しますか？（○はいくつでも）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 定期的な通院 5. 親戚・友人等の訪問 6. 遊び・娯楽
7. その他の私用 8. 仕事・業務（通勤を除く） 9. その他（ ）

質問は次のページに続きます

(2) あなたは、休日に沼島航路を利用してどこに行かれますか？ (○はいくつでも)

- 1. 灘 2. 阿万・北阿万 3. 福良 4. 賀集 (イオン、ららウォークなど)
- 5. 神代 (中林病院など) 6. 市・八木 (市役所、八木病院など)
- 7. これら以外の南あわじ市内 8. 洲本市 9. その他 ()

(3) あなたは、土生港で船を降りてから、(2)で答えていただいた行き先まで、休日はどのような交通手段で行かれますか？ よく利用する交通手段を選んで○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- 1. 車を自分で運転 2. 誰かの車に同乗 3. らん・らんバス、路線バス 4. タクシー
- 5. バイク・原付 6. 自転車 7. その他 ()

問6 問4で5～6に○をつけた方にお尋ねします。

休日に沼島航路をほとんど(全く)利用しないのは、どのような理由からですか？ (○は一つだけ)

- 1. 沼島を出る機会がほとんど(全く)ない 2. 自船など沼島航路とは別の移動手段がある
- 3. その他 ()

■ **洲本への行き来についてお尋ねします。**

問7 あなたは、どのくらいの頻度で洲本市内に行きますか？

日常的な行き来だけでなく、特別に行かれる場合なども含めてお答え下さい。(○は一つだけ)

- 1. 週に5日以上..... 2. 週に3～4日..... 3. 週に1～2日.....
- 4. 月に2～3日..... 5. 月に1日.....
- 6. 2～3ヶ月に1日..... 7. 年に1～2日.....
- 8. それ以下・全く行かない → 問9に進んで下さい

} 問8に進んで下さい

問8 問7で1～7に○をつけた方にお尋ねします。

(1) 沼島汽船の洲本行きが休廃止される前(今年の3月より以前)、どのような方法で洲本に行き来していましたか？ 最も近いものに○をつけて下さい。(○は一つだけ)

- 1. 洲本行きの運航日(火・木・土)に合わせ、洲本行きの沼島汽船を利用していた。
- 2. 出掛ける日が洲本行きの運航日と合えば、洲本行きの沼島汽船を利用していた。
- 3. 洲本行きの運航日でも、洲本行きは利用せず、土生行きの沼島汽船を利用していた。
- 4. その他 ()

(2) 沼島汽船の洲本行きが休廃止されたことにより、洲本への行き来に影響は生じていますか？

次に示す各項目について、それぞれお答え下さい。(○はそれぞれ一つずつ)

- ① 洲本の病院に行けなくなった(他の病院に変わった)。..... 1. あてはまる 2. あてはまらない
- ② 洲本に買い物で出掛ける回数が減った。..... 1. あてはまる 2. あてはまらない
- ③ 洲本に遊びや飲食のため出掛ける回数が減った。..... 1. あてはまる 2. あてはまらない
- ④ 土生港から洲本まで、バスに乗車するのがつらい。..... 1. そう思う 2. 思わない
- ⑤ 土生港からバスに乗り換えるのが面倒に思う。..... 1. そう思う 2. 思わない
- ⑥ 以前と比べて洲本までの所要時間は？..... 1. 長くなった 2. 短くなった 3. 変わらない
- ⑦ 以前と比べて洲本までの交通費は？..... 1. 高くなった 2. 安くなった 3. 変わらない

■ 沼島航路の今後の運営あり方についてお尋ねします。

問9 沼島住民の減少に伴い航路利用者の減少が続く中、沼島航路は国・自治体の補助を受けながら厳しい経営状況の下で運航していますが、今後の航路運営を考えた場合、あなたが最も重要だと思うものに○をつけて下さい。(○は一つだけ)

1. 乗船運賃の維持
2. 運航便数の維持
3. 運航船舶の大きさの維持 (小型化しない)
4. 陸上交通 (らん・らんバス) 接続本数の維持
5. 陸上交通 (らん・らんバス等) 運賃の維持
6. 運航船舶の2隻体制の維持
7. その他 ()

問10 沼島航路の利便性を向上させるための方法について、ご意見や日頃から考えておられることがありましたらご自由に記述して下さい。

■ 差し支えなければ、以下もお答え下さい。

問11 あなたの性別・年齢を教えてください。

1. 男性
2. 女性 () 歳

問12 あなたの職業を教えてください。(○は一つだけ)

1. 有職 (沼島で従業)
2. 有職 (沼島以外で従業)
3. 専業主婦
4. 中学生
5. 高校生
6. 大学生・大学院生・専門学校生
7. 無職

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、この調査票が入っていた封筒に入れ、11月11日までに

- 地区自治会長様にお渡しいただくか
- 沼島汽船・沼島側の乗船券販売窓口の「アンケート用紙回収箱」に入れて下さい。

沼島航路利用実態調査（国土交通省）

沼島以外にお住まいの方にご協力をお願いします

船内でご記入の上、お降りの際、回収係員にお渡し下さい

質問	回答欄
問1 本日はどのような目的で沼島にいられたか？(○はいくつでも)	1. 観光 2. 海水浴 3. 釣り 4. 名物料理(鱧など) 5. その他(通勤、帰省等)
[問1で1.~4.に○をつけた方のみお答え下さい]	1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3~5回目 4. 6~10回目 5. それ以上
問2 沼島にいられたのは何回目ですか？	1. 日帰り 2. 2日間 3. それ以上
問3 沼島にはどのくらい滞在されましたか？	1. マイカー 2. 観光バス 3. コミュニティバス(らん・らんバス) 4. タクシー 5. その他()
問4 往路(沼島にいられるとき)、港までどのような交通手段でいられたか？(○は一つだけ)	1. 一人だけ 2. 友人 3. 家族 4. ツアー 5. その他()
問5 どのような方といられましたか？(○はいくつでも)	1. 非常に満足 2. やや満足 3. どちらとも言えない 4. やや不満 5. 非常に不満
問6 沼島はいかがでしたか？	

質問は裏面に続きます。

問7 沼島及び沼島航路(土生~沼島)について、ご意見がありましたら自由に記述して下さい。

(ex:海がものすごく透明だった。もう少し遅い便があれば、ゆっくりできた。)

問8 差し支えなければ、あなたご自身のことについてお聞かせ下さい。

(1) 性別	1. 男性 2. 女性
(2) 年齢	()歳
(3) ご住所	()都道府県 ()市区町村

ご協力ありがとうございました。

お降りの際、回収係員にお渡し下さい。

調査実施主体:国土交通省神戸運輸監理部企画課

電話:078-321-3144

1.3 沼島航路の利用に関するアンケート調査の結果

(1) 回答者の属性

① 性別・年齢

- ・沼島航路の利用に関するアンケート調査（住民アンケート調査）では、114 世帯 214 人から有効回答を得た。（表－9、図－15）
- ・性別・年齢と職業については、回答を任意としたため 82 人が性別・年齢を回答しなかった。
- ・年齢に回答のあった 132 人について見ると、60 代が最も多く男性の 38%、女性の 34%を占め、次いで 70 代、80 歳以上が多い。若い世代の割合は少なく、10 代と 20 代を合わせて 5%、30 代と 40 代を合わせて 12%となっている。

表－9 性別・年齢階層別サンプル数

(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	回答者数	無回答	合計
男性	1	1	4	5	6	24	10	12	63	23	86
女性	3	1	3	4	9	23	14	11	68	32	100
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	27	28
合計	4	2	7	9	15	47	25	23	132	82	214

図－15 性別・年齢階層別サンプル数の構成比



注：年齢階層の構成比は、年齢無回答を除く回答者を 100%として計算している。

性別「合計」のグラフは、性別無回答を含む全回答者の年齢構成比を図化している。

そのためグラフの回答者数の男性・女性の合計値は、合計の回答者数と一致しない。

(以降のグラフも同様)

② 職業

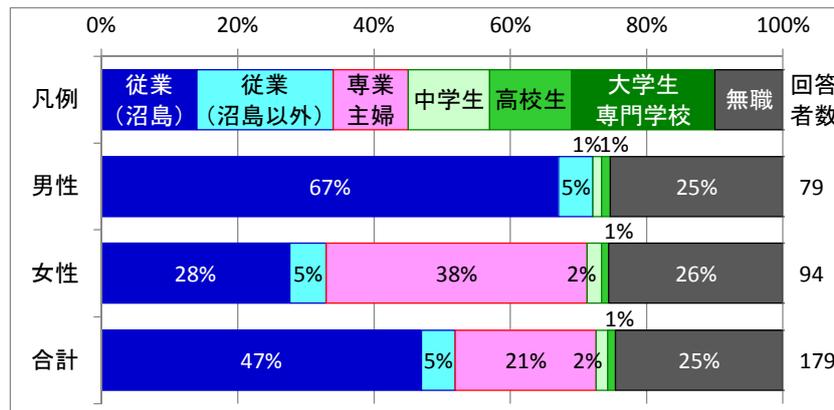
- ・職業は179人から回答があった。（表-10、図-16）
- ・男性では沼島で従業している人が最も多く（67%）、次に無職が多い（25%）。沼島以外で従業する人は5%、中学生と高校生はそれぞれ1%ずつ、大学生・専門学校生はいない。
- ・女性は専業主婦が最も多く（38%）、以下、沼島での従業者（28%）、無職（26%）などとなっている。

表-10 性別別・職業別サンプル数

(単位:人)

	有職 沼島従業	有職 沼島外従業	専業主婦	中学生	高校生	大学生 専門学校	無職	回答者数	無回答	合計
男性	53	4	0	1	1	0	20	79	7	86
女性	26	5	36	2	1	0	24	94	6	100
無回答	5	0	1	0	0	0	0	6	22	28
合計	84	9	37	3	2	0	44	179	35	214

図-16 性別・職業別サンプル数の構成比



(2) 沼島航路の利用について

① 利用頻度

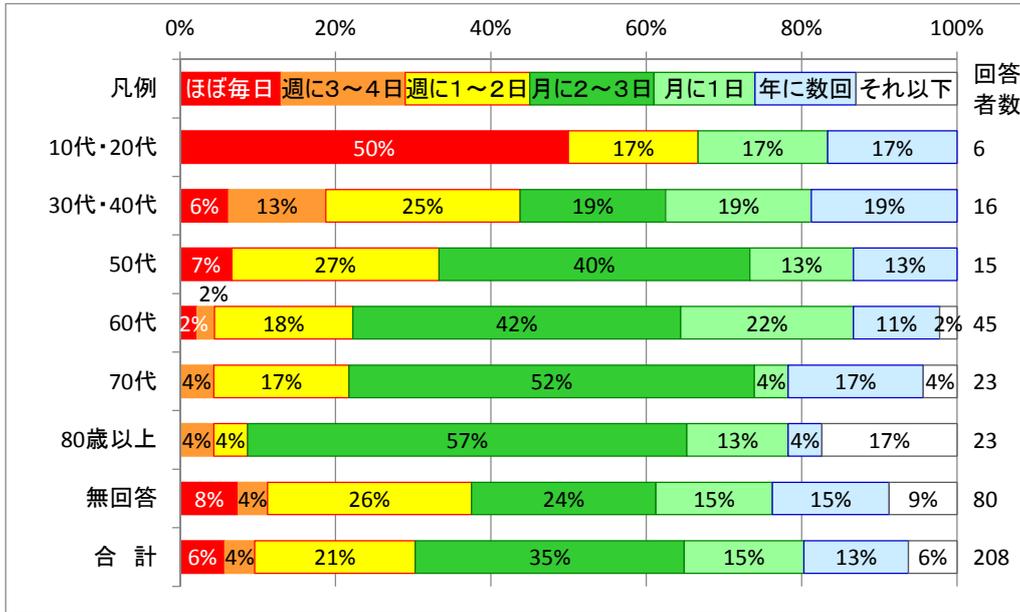
a) 平日

- ・平日の沼島航路の利用頻度は、全体では月に2～3日が最も多く(35%)、週に1～2日(21%)、月に1日(15%)の順となっている。(図-17)
- ・年齢階層別に見ると、10代・20代や30代・40代ではほぼ毎日・週に3～4日・週に1～2日など高頻度に利用する割合が高い。年齢が高まるにつれてその割合は減少し、月に2～3日などの割合が高まる。
- ・職業別に見ると、沼島以外で従業する人は全員(8人)がほぼ毎日または週に3～4日利用しているほか、中学生・高校生の40%がほぼ毎日利用している。沼島で従業する人も、週に1～2日の割合が専業主婦などよりも多く、相対的に高頻度で利用している。(図-18)

b) 休日

- ・休日の利用頻度は、全体では月に1～2日が最も多く(43%)、月に3～4日(19%)が次に多い。(図-19)
- ・10代・20代や30代・40代では、ほとんどの人が月1～2日以上利用している。
- ・これに対し、50代より年配の世代では1～2ヶ月に1日や年に数回という人の割合が高まる。平日同様に、年齢が高まるにつれて利用頻度が減少していることがわかる。
- ・職業別には、沼島以外で従業する人や中学生・高校生の利用頻度が相対的に高いことがわかる。(図-20)

図-17 年齢階層別・沼島航路の利用頻度（平日）



注：10代～40代はサンプル数が少ないため、10代・20代、30代・40代に統合している。

(以下同様)

図-18 職業別・沼島航路の利用頻度（平日）

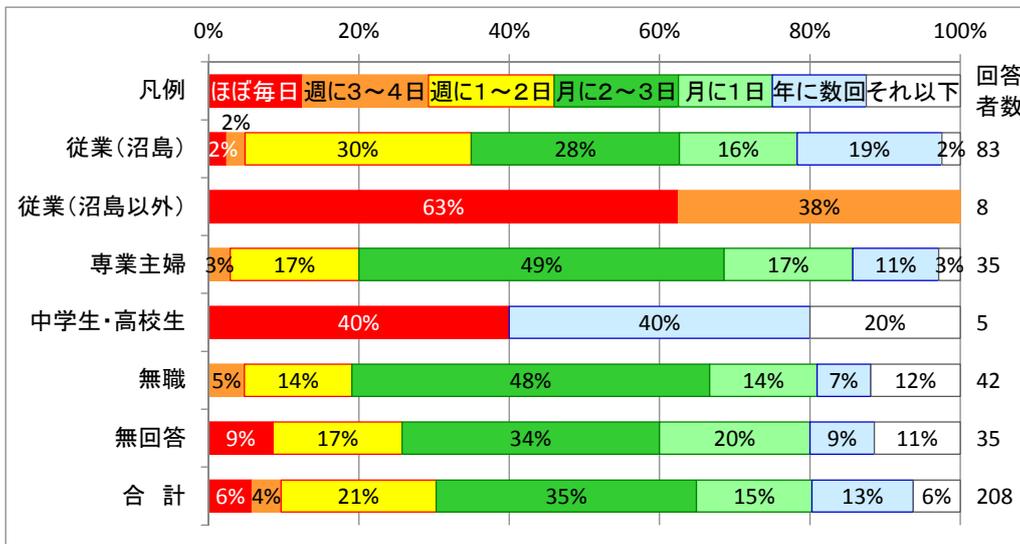


図-19 年齢階層別・沼島航路の利用頻度（休日）

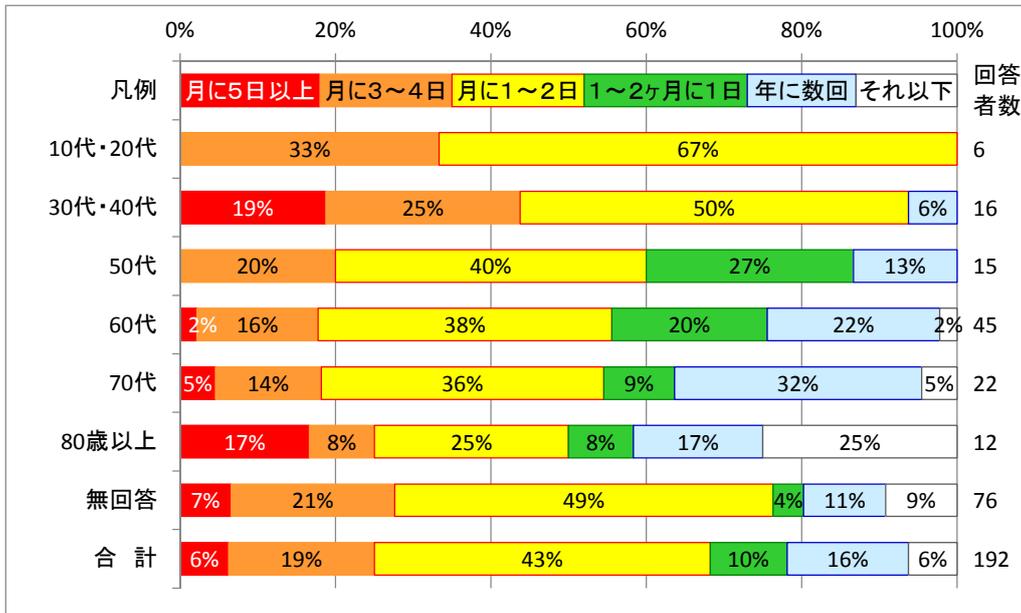
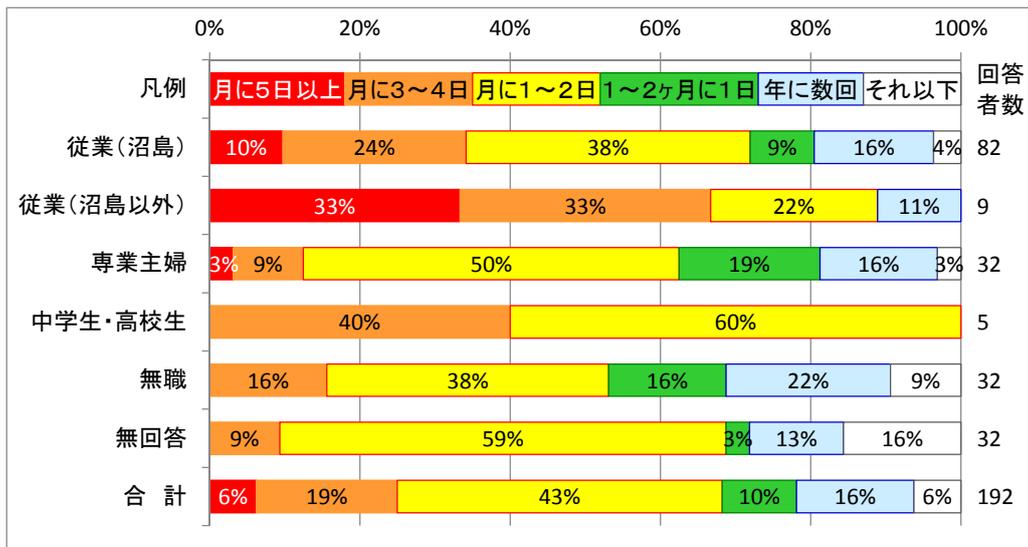


図-20 職業別・沼島航路の利用頻度（休日）



② 利用目的

a) 平日

- ・平日の利用目的は、全体では定期的な通院（56%）と買い物（50%）が多く、その次に遊び・娯楽（19%）が多い。通勤は全体の8%、通学は全体の2%に留まっている。（図-21）
- ・職業別には、沼島以外で従業する人の通勤利用や、中学生・高校生の通学利用が他の目的に比べて高い割合となっているほか、従業者（沼島、沼島以外）では仕事・業務での利用が見られる。（図-22）

図-21 年齢階層別・沼島航路の利用目的（平日）

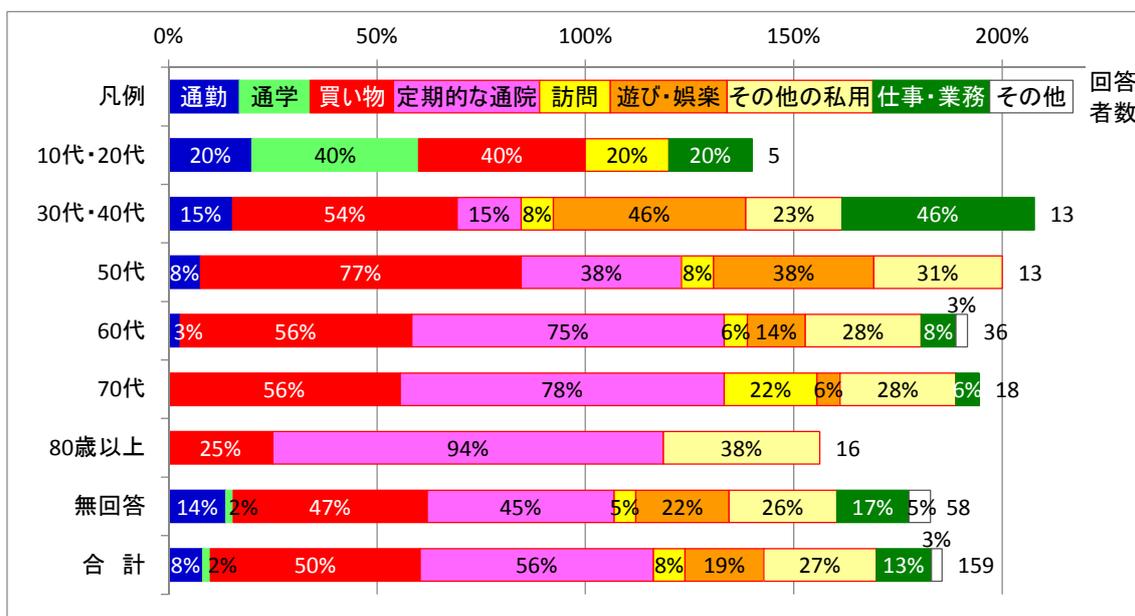
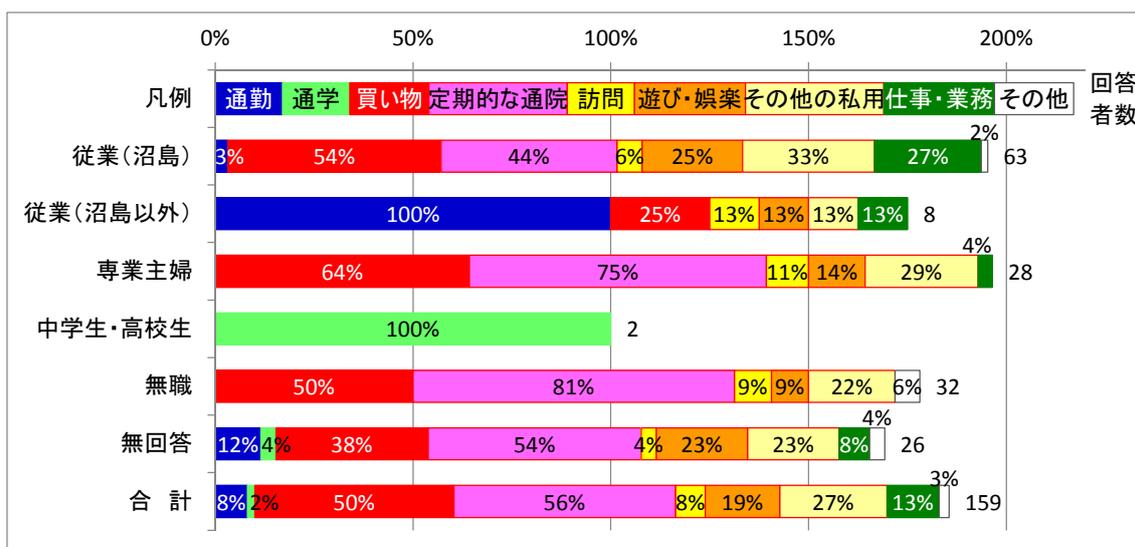


図-22 職業別・沼島航路の利用目的（平日）



注：回答数を回答者数で除した値を図化している。複数回答のため、その合計値は100%を超える。（以下同様）

b) 休日

・休日は、全体では買い物が最も多く（72%）、次にその他の私用（35%）、定期的な通院（32%）、遊び・娯楽（31%）が多い。（図-23）

・これ以外の目的は少なく、この4つの目的での利用が大半を占めている。

・年齢階層別には30代・40代や50代において買い物や遊び・娯楽の割合が相対的に高い。

（図-24）

図-23 年齢階層別・沼島航路の利用目的（休日）

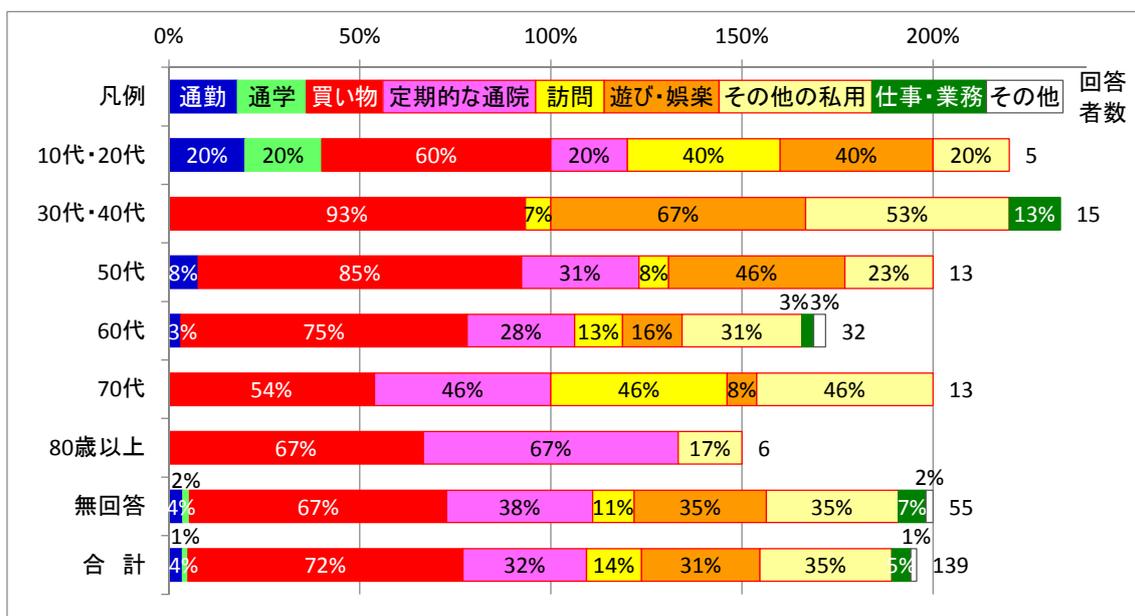
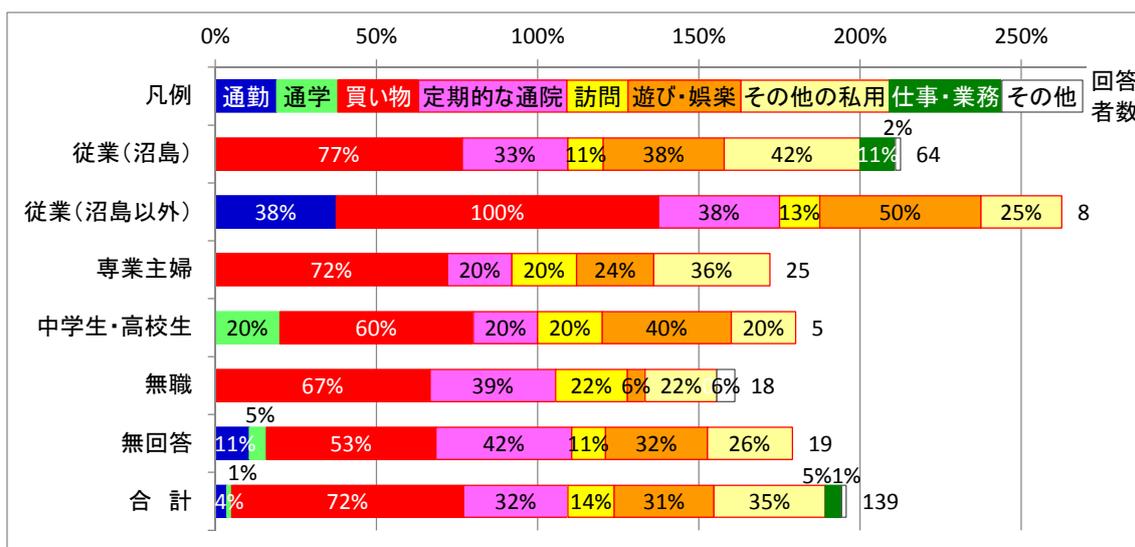


図-24 職業別・沼島航路の利用目的（休日）



③ 沼島航路を利用した日常的な外出先

a) 平 日

- ・平日の主な外出先は、大規模商業施設が立地する賀集が最も多く（図の脚注に示した方法で計算すると 21.9 回／日）、南あわじ市内では病院のある神代が次に多い（11.4 回／日）。
- ・また、洲本市内への外出は神代よりも多い（14.1 回／日）。（図-25、図-26）
- ・土生港周辺の灘や阿万・北阿万への外出は少なく、多くの場合、土生港から南あわじ市の中心部や洲本市まで出掛けていることがわかる。
- ・年齢階層別や職業別には際立った特徴は読み取りづらいが、70 代や 80 歳以上の人でも洲本市まで出掛ける機会が少なくないことが読み取れる。また、専業主婦や無職の人の外出先も広範囲に分布していることがわかる。

b) 休 日

- ・休日についても、最も多い外出先は賀集である。その回数の合計は 22.9 回／日で平日とほぼ同じである。（図-27、図-28）
- ・病院のある神代は平日より外出回数は少なく（8.6 回／日）、一方で洲本市への外出回数（16.1 回／日）は平日よりも多い。
- ・前項に示したように買い物や遊び・娯楽を目的とした外出が平日よりも多い休日の特徴が表れているものと考えられる。

図-25 年齢階層別・沼島航路を利用した日常的な外出先（平日）

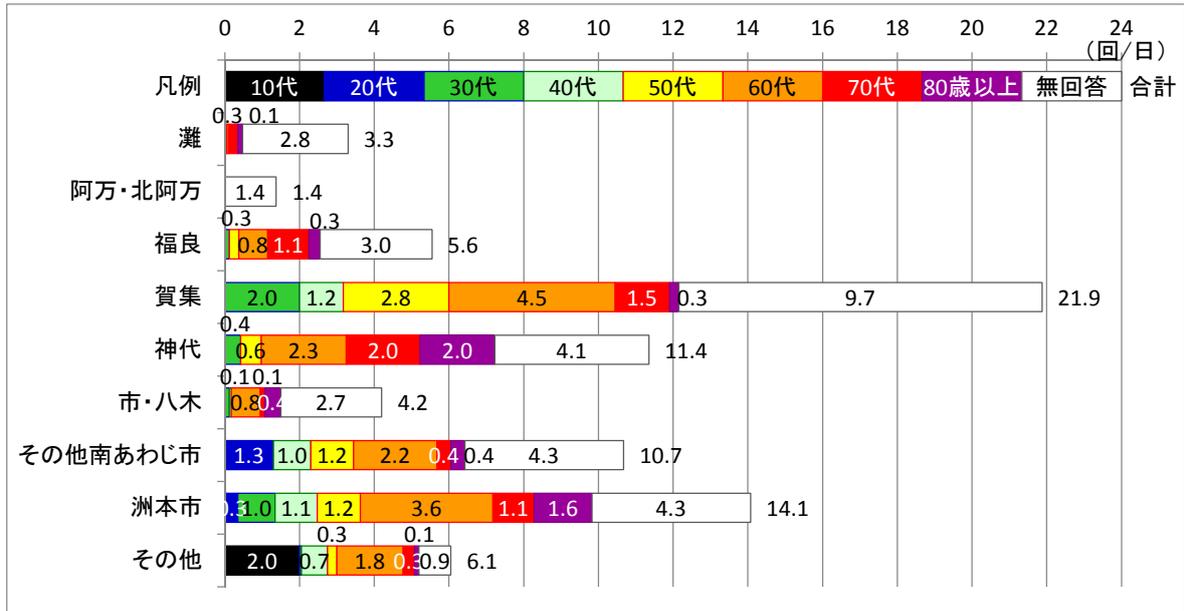
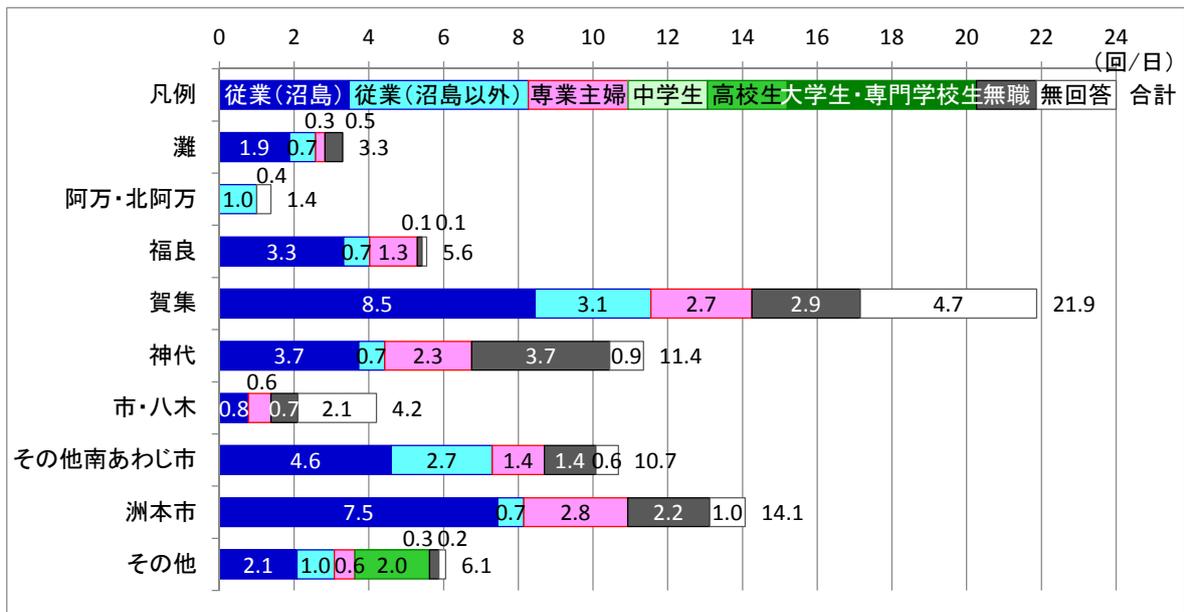


図-26 職業別・沼島航路を利用した日常的な外出先（平日）



注：数値は外出頻度を以下のように換算し、足し合わせたものである。

ほぼ毎日＝1.0（回／日）、週に3～4日＝0.7、週に1～2日＝0.3、月に2～3日＝0.125、月に1日＝0.05、年に数回＝0.0125

[計算例] 週に3～4日…1週の平日5日のうち3.5回 → $3.5 \div 5 = 0.7$ と計算。（他も同様）

図-27 年齢階層別・沼島航路を利用した日常的な外出先（休日）

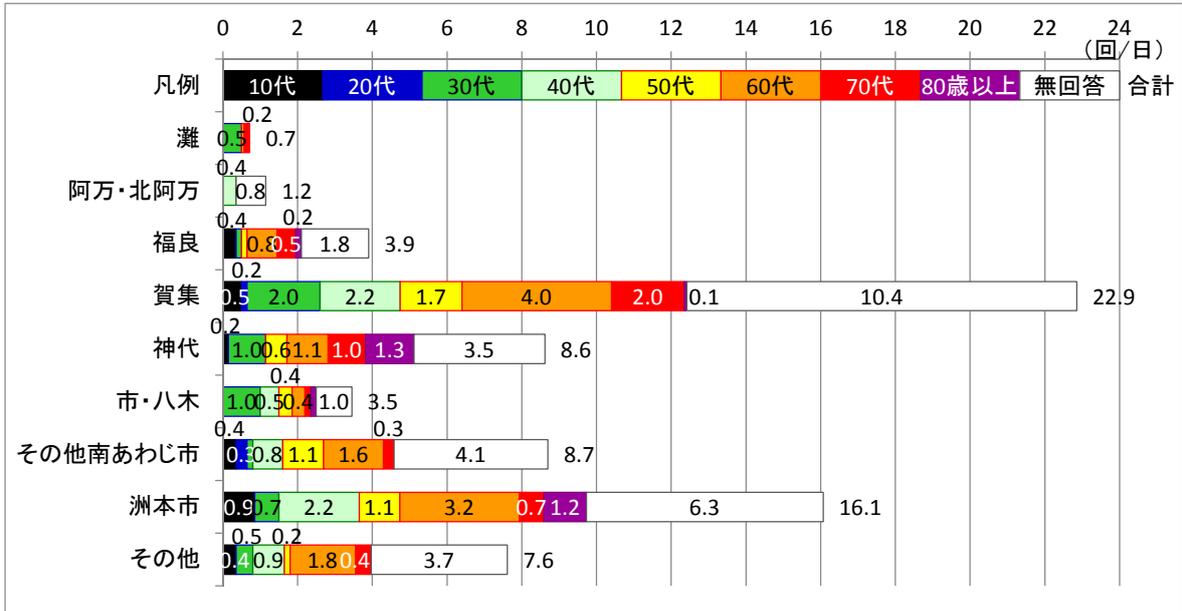
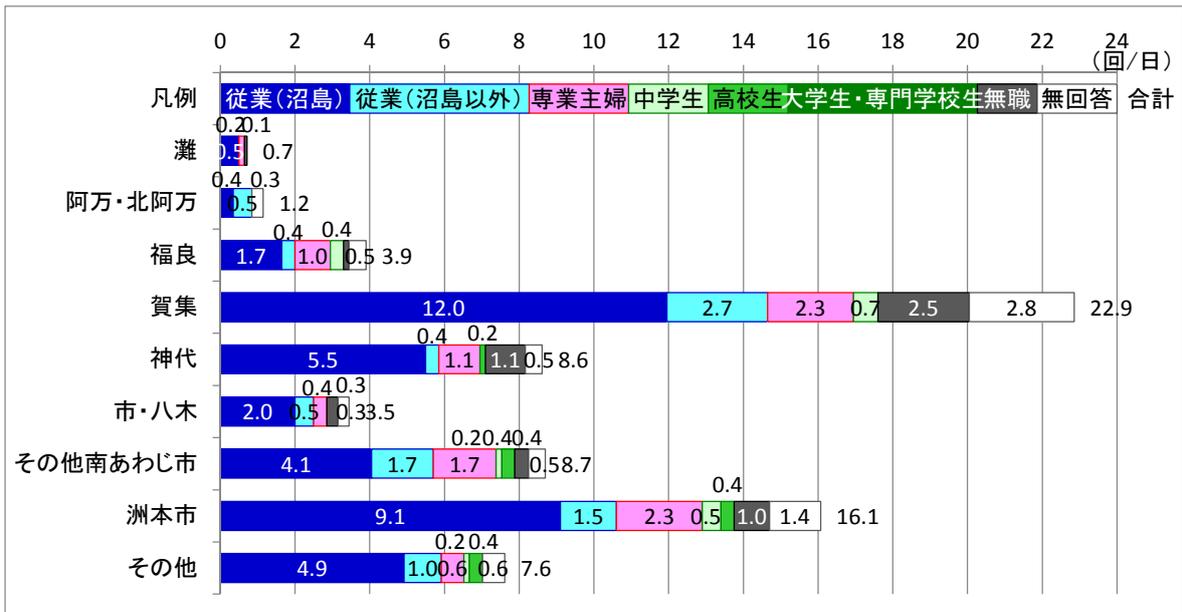


図-28 職業別・沼島航路を利用した日常的な外出先（休日）



注：数値は外出頻度を以下のように換算し、足し合わせたものである。

月に5回以上=0.5（回/日）、月に3～4日=0.35、月に1～2日=0.15、

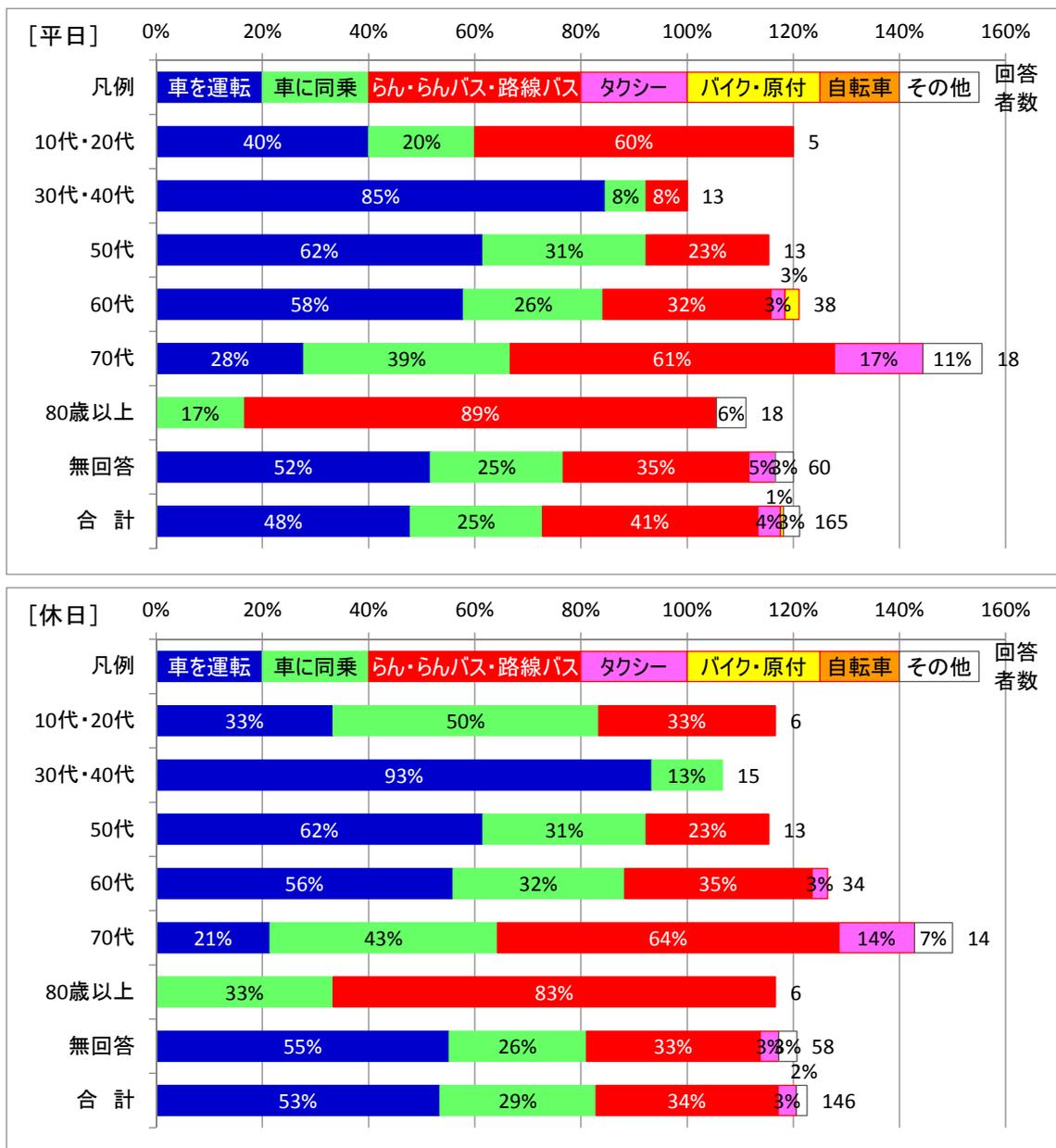
1～2ヶ月に1日=0.067、年に数回=0.025

[計算例]月に3～4日…1ヶ月の休日10日のうち3.5回 → $3.5 \div 10 = 0.35$ （他も同様）。

④ 淡路島側での交通手段

- ・土生港で下船した後の淡路島側での交通手段は、全体では車を運転が最も多く（平日 48%、休日 53%）、次いでらん・らんバス（平日 41%、休日 34%）、車に同乗（平日 25%、休日 29%）となっている。それ以外はタクシー、バイク・原付、その他がわずかに見られるだけで限られている。（図-29）
- ・年齢別には、30代・40代では車を運転が90%前後に及ぶが、年齢が高まるにつれてその割合は徐々に減少する。一方で、らん・らんバスの割合は年齢が高まるにつれて増加し、70代では60%以上、80歳以上では80%以上がらん・らんバスを利用することがある。

図-29 年齢階層別・淡路島側での利用交通手段（平日・休日）



注：複数回答のため構成比の合計は100%を超える。

⑤ 沼島航路を利用しない理由

- ・沼島航路の利用頻度が年に数回以下の人を対象に沼島航路を利用しない理由を尋ねたところ、平日では「沼島を出る機会がほとんどない」（39%）や「自船など沼島航路とは別の交通手段がある」（27%）との回答が多く見られた。（図-30）
- ・一方で、その他の回答が多く、具体的な記述として仕事や学校があるという回答が多数見られたため、それを区分して集計したところ、沼島での従業者や中学生・高校生にそのような回答が見られた。
- ・休日は、「沼島を出る機会がほとんどない」（55%）や「自船など沼島航路とは別の交通手段がある」（35%）との回答が多く、合わせて90%となった。（図-31）
- ・ただ、80歳以上（回答者数2人）は「介助者がいないと外出できない」「自分では動けない」という、身体的な問題で外出できないとの回答であった。

図-30 職業別に見た沼島航路を利用しない理由（平日）

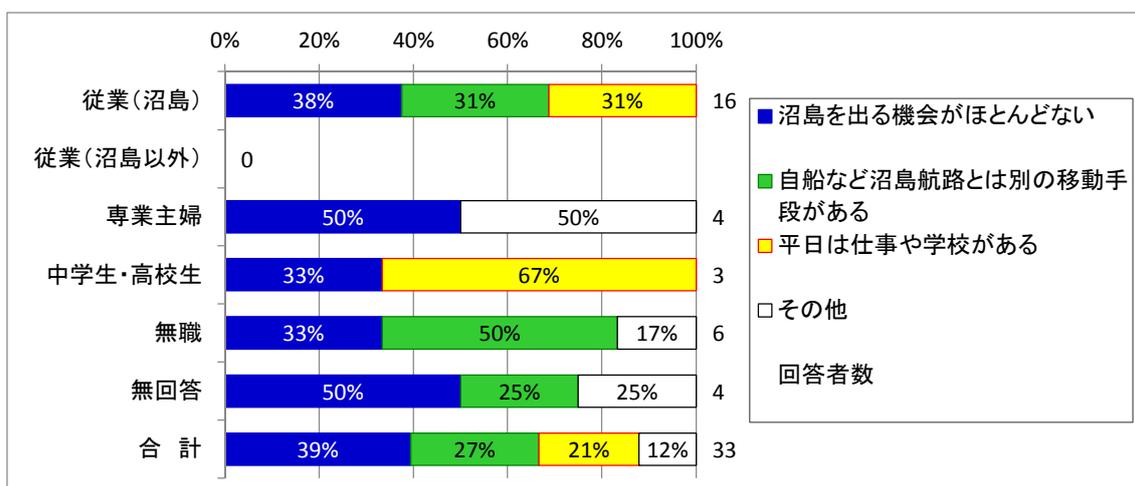
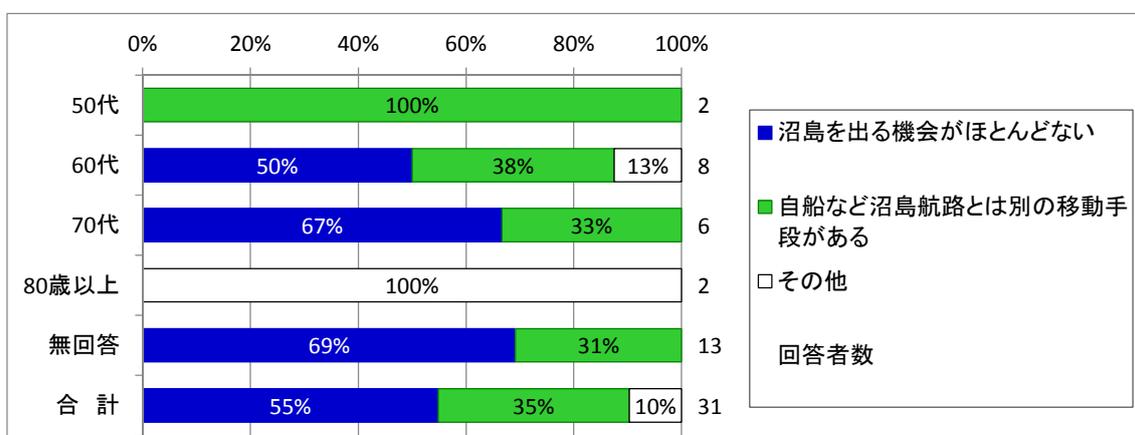


図-31 年齢階層別に見た沼島航路を利用しない理由（休日）



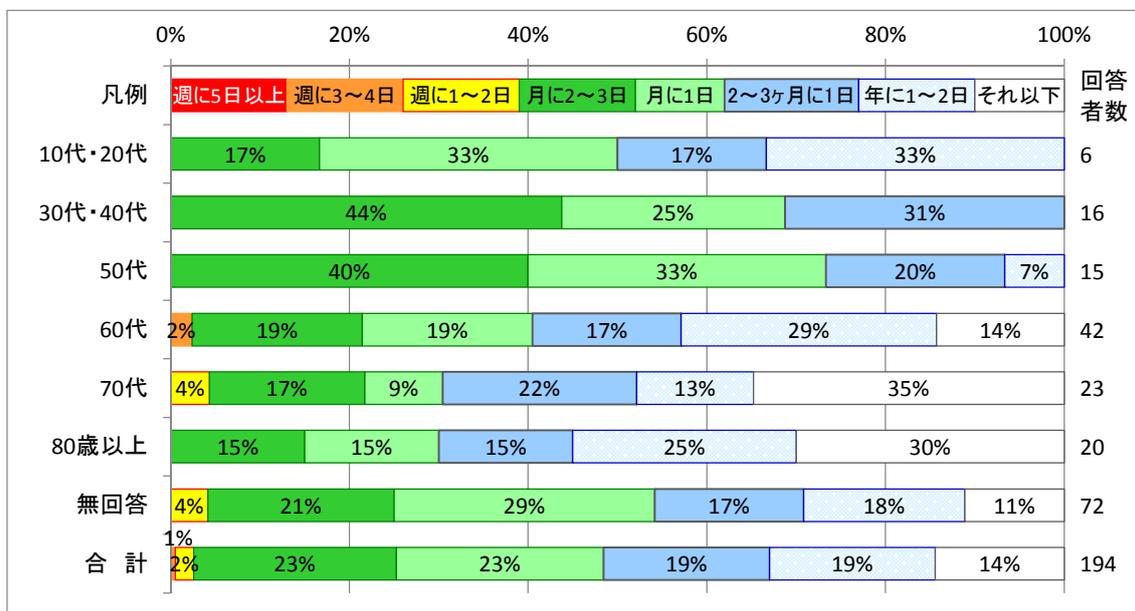
注：沼島航路の利用頻度が「年に数回」または「それ以下・全く利用しない」と回答した人を対象

(3) 洲本への往来について

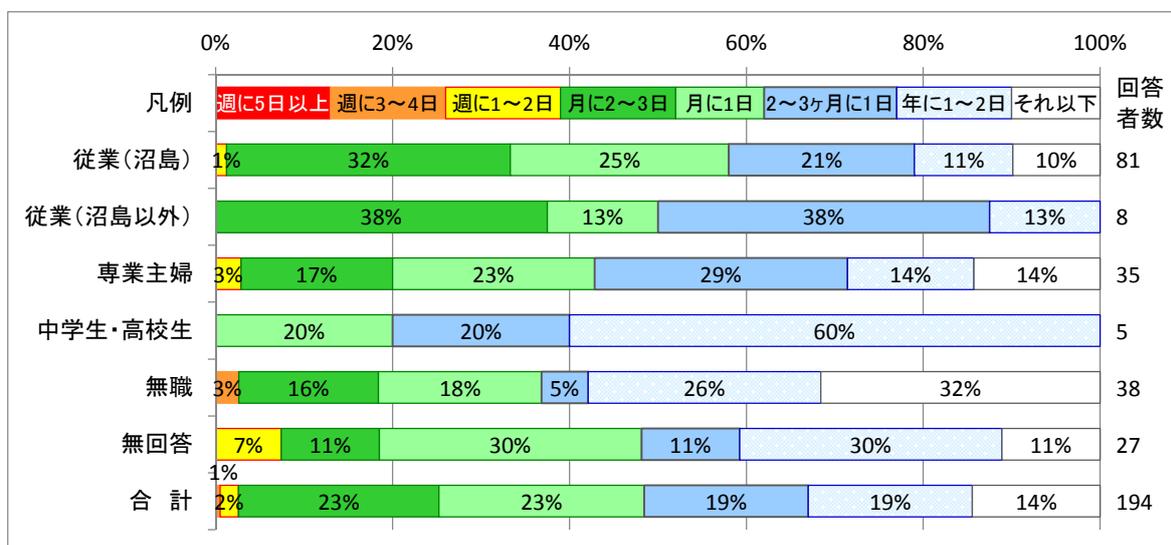
① 洲本市内への外出頻度

- ・洲本市内への外出頻度は、全体では月に2～3日、月に1日がそれぞれ23%、2～3ヶ月に1日と年に1～2日がそれぞれ19%となっている。週に1～2日、週3～4日は1～2%程度、週に5日以上は皆無であった。（図－32）
- ・年齢階層別には、30代・40代や50代では40～44%が月に2～3日と回答しており、相対的に洲本に行く頻度が高い。60代や70代では週に3～4日や週に1～2日という回答が見られる一方、60代以上では2～3ヶ月に1日、またはそれより少ない頻度の回答が増える。
- ・職業別には有職者の洲本に行く頻度が相対的に高いことがわかる。（図－33）

図－32 年齢階層別・洲本市への外出頻度



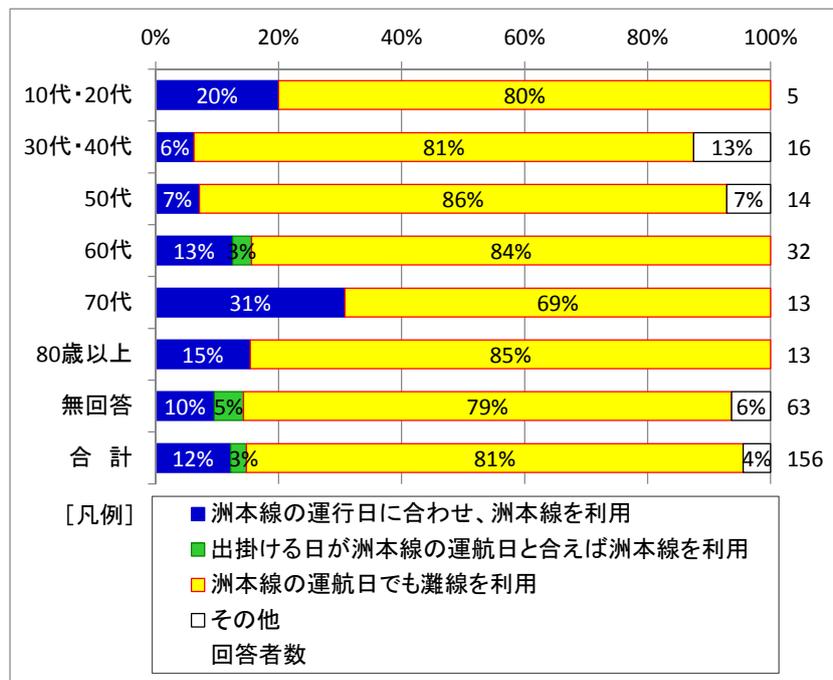
図－33 職業別・洲本市への外出頻度



② 洲本線の従前の利用状況

- ・洲本線が運航されていた時期における洲本線の利用について尋ねたところ、全体の81%は「洲本線の運航日であっても灘線を利用していた」と回答した。（図-34）
- ・「洲本線の運航日に合わせて洲本線を利用していた」と回答した人、すなわち洲本線の運航日に自分の行動を合わせていた人は回答者の12%（19人）であった。
- ・「出掛ける日が洲本線の運航日と合えば洲本線を利用」という人、すなわち洲本線の運航日に合わせて洲本線と灘線を使い分けていたという人は全体の3%（4人）だけであった。
- ・年齢階層別にみると、70代をはじめ、80歳以上や60代、また10代・20代など自分で車を運転できない人が多く含まれると考えられる年齢層では「洲本線の運航日に合わせて洲本線を利用していた」との回答割合が他の年齢階層に比べて高い。

図-34 年齢階層別・休廃止前の洲本線の利用について



注：質問は洲本に年1～2回以上行くことのある人を対象としている。

③ 洲本線休廃止の影響

- ・ここでは、休廃止前に洲本線を利用していた人、すなわち前頁に示した「洲本線の運航日に合わせて洲本線を利用していた」という 19 人と「出掛ける日が洲本線の運航日と合えば洲本線を利用していた」という 4 人を合わせた 23 人を対象として、洲本線休廃止の影響について分析する。
- ・表-11 は対象となる 23 人の年齢別の人数を表したものである。
- ・23 人のうち年齢無回答を除いた 14 人に対し、20 代、30 代、50 代が 1 人ずつであり、11 人が 60 代以上である。80 歳以上も 2 人含まれている。

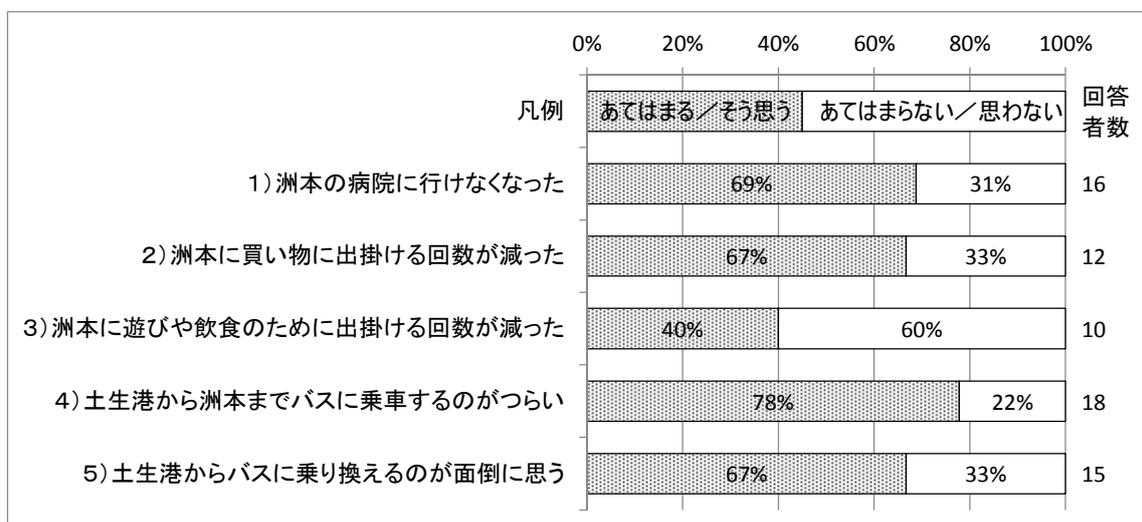
表-11 休廃止前に洲本線を利用していた人の年齢

	洲本線の運行日に合わせ、 洲本線を利用	出掛ける日が洲本線の運航 日と合えば洲本線を利用	合計
10代	0	0	0
20代	1	0	1
30代	1	0	1
40代	0	0	0
50代	1	0	1
60代	4	1	5
70代	4	0	4
80歳以上	2	0	2
無回答	6	3	9
合計	19	4	23

- ・また、この 23 人について、アンケート調査のほかの質問への回答状況から、現在の洲本への往来や利用交通手段について集計したところ、
 - 23 人中 9 人（39%）が、今も日常生活において洲本に行き来している。
 - 洲本への利用交通手段（複数回答）について、
 - ・ 9 人中 7 人が「らん・らんバス、路線バス」のみ、
 - ・ 1 人が「車に同乗」「らん・らんバス、路線バス」「タクシー」の 3 つに回答、
 - ・ 1 人が「車を運転」と回答した。
- ・すなわち、洲本線利用者の 40% 程度の人、洲本線休廃止後も灘線を利用して洲本と行き来しており、土生港から洲本まではらん・らんバス、路線バスが主要な交通手段となっている。

- ・図-35 はこのようなプロフィールの 23 人について、洲本線休廃止の影響に関する 5 つの質問の回答結果を示すものである。
- ・これによると、洲本の病院に行けなくなった、洲本に買い物に出掛ける回数が減ったとの回答が 70% 近くに達している。
- ・また、78% が土生港から洲本までバスに乗車するのがつらい、67% が土生港からバスに乗り換えるのが面倒と回答している。
- ・これらのことから、高齢者が多く、移動に公共交通を必要とする人が多い洲本線利用者のうち 3 分の 2 以上の人 が洲本線の休廃止に伴い不便を感じていることがわかる。

図-35 洲本線休廃止の影響について（洲本線利用者を対象）

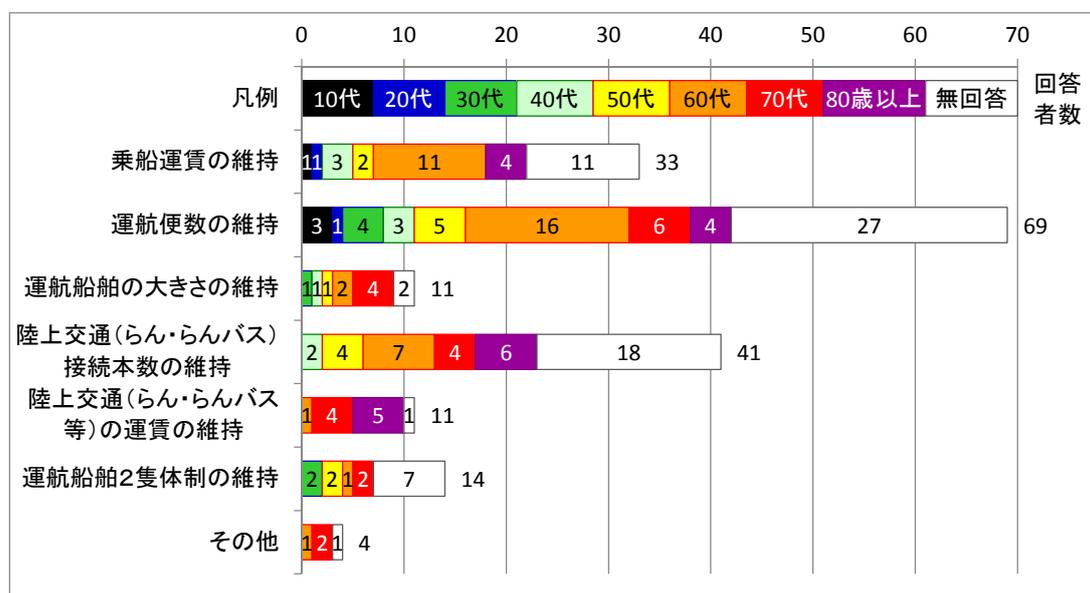


(4) 沼島航路のあり方について

① 沼島航路の今後の運営

- ・沼島航路の今後の運営について、最も重要と思うものを一つだけ選択する形で意見を問うたところ、運航便数の維持が最も多かった（69人が回答）。次いで、陸上交通（らん・らんバス）接続本数の維持（41人）、乗船運賃の維持（33人）となった。（図-36）
- ・年齢別には、運航便数の維持について、10代～40代の意見が他の項目よりも多く、陸上交通接続本数の維持は30代以下の回答がなく、50代以上の回答が多い。

図-36 年齢階層別・沼島航路の航路運営において重要な方策



② 沼島航路の利便性向上のための方法

沼島航路の利便性向上のための方法として、意見や日頃考えていることの記述を求めたところ、45人から回答が得られた。意見を分類するとともに、回答者の性別・年齢とともに一覧表に整理して以下に示す。

意見を概観すると、運賃を下げることや便数、運航時間帯に関する意見のほか、らんらんバスとの接続の改善を求める意見も何件か見られる。また、サービスの改善を求める声も少なくない。

表-12 沼島航路の利便性向上のための自由意見

分類	性別	年齢	意見の内容
総合	男性	60代	①乗車運賃を下げる。高すぎる。 ②船内の清掃に努めること。
	男性	70代	安全性、利便性の維持は絶対。陸上交通のアクセスの整備。小型船は絶対だめ。
	女性	40代	運行便数の増加。10便→12便くらいにさせていただけるとうれしい。自分は車を使っているが、県外の友人が沼島に遊びに来る際、らんらんバスとの陸上交通の接続をもっと多くしたら車を持たない人も気軽に沼島に来られるし、沼島のお年寄りも出入りしやすくなるのでは。
	女性	無回答	運賃を安くしてほしい。便数、船の大きさは現状維持。洲本行きがなくなり不便をしている人も居る事をお忘れなき様。
	女性	70代	各便がらんらんバスと接続してほしい。11:20船で行っても土生で1時間以上待つ。(朝の便は待ち時間がないのでよい)以前船窓の汚れがすごく気になったが、この頃は綺麗になり全然気にならなくなった。自転車置き場が整理されて気持ちよい。
	男性	無回答	継続してもらわなければ困る。→抜本的改革と船の数、大きさ、人の数の吟味。土生の男性従業員の態度を改善してほしい。土生で1万円出すとおつりがないと言われる。おつりを準備するか両替機を設置してほしい。船の背を低くして、波に対応できるようにするなど休みを減らしてほしい。
	女性	60代	最終便の時間を延長してほしい。障害者手帳を持っていたら半割にしてほしい。1,2,3級も同じ扱いにしてもらいたいものである。家族割引もしてもらいたいものだ。他の船(定期便)は安い。
好感	女性	60代	10便ありうれしいです。車を離なし今は洲本の病院へ朝1便で行っています。7時25分の便がらんらんバスと合わないようなので、これは仕方がないと思います。船の運賃も安くなり、らんらんバスも安いのでとても助かっています。船も新しくなり感謝しています。これからもよろしくお願いします。
洲本便	女性	30代	洲本に行くにあたり、私たち家族は灘から車で行くので不便はありませんが、病院で麻酔のいる検査を受けた時に家族に車を運転できる人がおらず、帰宅が困難でした。洲本便がなくなったことで大変生活に不便が生じていることがあります。各種宅配便ですが大型商品の配送が断られる地域に指定されるようになり、生活に必要なインターネットでの買い物(特に大型家電等個人で運びにくいもの)に支障が出ています。週に一度でも運航があると少しは改善しそうですが。

分類	性別	年齢	意見の内容
便数・ダイヤ	女性	60代	帰省した家族が帰る時、午後のらんらんバスの連絡が悪い。例えば、沼島発 14:40 か 16:00 の船に乗り、らんらんバスと連絡があればよいのと思います。帰りはいつもタクシーか誰かの車に乗らせてもらうしかなく不便です。
	男性	無回答	現在は自家用の車で通院等をしているが、高齢になれば運転できなくなる為、運航便数、らんらんバスの運行便数の維持を強く希望します。
	女性	50代	船とらんらんバスとの接続利便を考えてバスの時間をバス会社（市）に要望するのではなく、船の時間も考えてほしいと思います。（土生での待ち時間）具体的には午後の船に 11:20 発 11:30 着バス土生発 12:30（待ち時間約 1 時間）14:40 発 14:50 着バス土生発 15:50（待ち時間 1 時間）。船内、窓の掃除。（窓の汚れで外景が見にくい）満席の時は乗客に「詰めて座るように」との声掛けが必要に思う。（空席があるのに立っている人が多い）安全面での問題にもなるのでは。
	女性	60代	もう 1 便増便してほしい！
	男性	無回答	もう少し遅い時間までの運行。運賃の値下げ。住民割引の拡大。
	男性	80歳以上	らんらんバスが到着してから船が出航するまでの時間が近いと思います。10 分間ぐらいあけてほしい。
	女性	無回答	らんらんバスは車のもってない人の足です。ずっと続けて運転してください。船との連絡もよろしくお願いします。
	運賃	女性	無回答
男性		60代	乗客の運賃だけでなく、貨物の運賃も下げて欲しいです。沼島で販売されている商品は運賃が加算されていて島外より高い物価で生活しています。毎日のことなので家計に大きく影響して困っております。また大きな荷物も運搬してもらえなくなりました。
女性		60代	乗船運賃の維持とありますが、沼島の住民にはもう少し運賃を下げてもらいたい。
女性		50代	生活便なので運賃が安ければ安いほど助かります。減免のカード事務的対応は理解できるのですが、融通の利く対応もありではないかと思います。今からお正月・年末の帰省時の欠航が気になります。冬場の外出は予定も立てづらいです。規定にとらわれず気力で出航にしてくれることを期待しています。船長により出航の線引きにバラつきがあり、出航してくれた時はありがたく思えます。
男性		50代	島民の通院の時は割引などしてほしい。（もっと）
女性		60代	沼島の島民用の切符は島民以外使用出来ませんが、期限のある切符を使えない場合は差額分を足して島民以外の人（一緒に住んでいない子供や友達）が使えるようにしてほしい。
サービス		無回答	無回答
	女性	無回答	船員の態度の悪さを改善してほしい。乗る時（客が）でも知らん顔でゲームをしていたり、知り合いと話し込んだり、仕事とは思えない態度に嫌な気分になる。船室の掃除をしてほしい。何日も前からの汚れがあったりトイレはとても汚い。男性にはそんなことは苦手だと思うので事務している方がしてほしい。子どもにトイレを使わせるのに抵抗ありなほどよごれてます。

分類	性別	年齢	意見の内容
サービス	女性	40代	沼島島民は事務員ならわかるはずなのに、わざわざ離島島民カード（割引）の提示を毎回するのが時間のロスだと思います。
	女性	50代	乗組員の愛想がない。親しい人にだけやさしくする。
	男性	60代	船をもっと綺麗にしてほしい。窓等汚い。清掃をしているところを見たことがない。
	女性	70代	まず船をもっと清潔にお願いします。人員の削減はできないの？小型化も有。☆どの船も継続が一番です。
	女性	80歳以上	窓口の切符売り公私混同しないように願います。
	無回答	無回答	もっと窓をきれいに。ハエがいる。運賃高い。人が多すぎる。土生の男性の態度が悪い。休みが多い。
	男性	50代	離島島民の割引カードの提示意味がわからない！沼島島民が事務所で働いて識別出来るのにわざわざ提示するのは時間の無駄です！
	女性	無回答	利便性と関係ないかもしれませんが、座席が汚くなっていることが多いように思います。定期的にコロコロ（粘着テープ）等で掃除してほしい。ハエが多いのも気になります。観光客のためには窓も綺麗にしてはどうでしょうか。
運航	男性	30代	船長の気分で穏やかな天候の日に船を止めるのはやめてください。荒天から回復しても休みたいときは船が動かない。いつ動くかと対岸で長い間待ち、結局帰れず車中泊や野宿しながらおだやかな海を見る人の気持ちを考えてください。
	女性	10代	天候の悪い日は仕事があっても休みを取らなければならないので沼島からは働きにいかれない。船の時間も最終便が早いのでアルバイトやパートにはいけない。（収入が少なくなる。）
	男性	60代	冬場の欠航が多い。
経営	女性	無回答	従業員の数が多いように思う。
	女性	無回答	沼島汽船は無駄に人が多すぎるので、経営が苦しいのでは？きちんと人員管理をすれば2/3～半分くらいの人でいけるのではないかと思う。
	無回答	70代	船を1隻にして人員を少なくする事で赤字がすくなくなると思う。
その他	男性	80歳以上	アンケートの表示してほしい。又は説明等。
	女性	無回答	今は自分で運転できるので不便はありませんが、今後病院への通院についてとても不安です。人口が減少する中維持できるかとても心配です。
	男性	70代	観光客が島に渡りやすい航路となる島に減便。船舶の現状維持が大切。交流人口の増加によって異文化交流ができ島民の意識改革が進められ島の活性化の一因となっている。
	男性	80歳以上	現状で良い。
	男性	60代	声をかけてほしい（あいさつなど）
	男性	50代	問9、1～6まで重要
	女性	50代	問9は一つは困ります。1,2,5も重要だと思います。4はもっと増やしてほしいです。

1.4 沼島航路利用実態調査の結果

(1) 回答者の属性

① 性別・年齢

- ・沼島航路利用実態調査では、8月10日（水）に117人、9月11日（日）に143人、合わせて260人から回答を得た。（表-13）
- ・両日ともに男性の回答が女性より少し（10人余り）多く、40代（全体の27%）を中心に20代～60代の割合が多かった。

表-13 調査日別・性別・年齢別サンプル数と構成比

調査日	性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	回答者数	無回答	合計
8月10日 （水）	男性	5	8	12	22	5	7	3	1	63	0	63
	女性	2	10	12	5	10	5	3	2	49	3	52
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	合計	7	18	24	27	15	12	6	3	112	5	117
9月11日 （日）	男性	0	11	13	24	9	11	5	0	73	0	73
	女性	1	8	11	14	17	6	2	0	59	6	65
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	合計	1	19	24	38	26	17	7	0	132	11	143
合計	男性	5	19	25	46	14	18	8	1	136	0	136
	女性	3	18	23	19	27	11	5	2	108	9	117
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
	合計	8	37	48	65	41	29	13	3	244	16	260

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
8月10日 （水）	男性	8%	13%	19%	35%	8%	11%	5%	2%	100%
	女性	4%	20%	24%	10%	20%	10%	6%	4%	100%
	合計	6%	16%	21%	24%	13%	11%	5%	3%	100%
9月11日 （日）	男性	0%	15%	18%	33%	12%	15%	7%	0%	100%
	女性	2%	14%	19%	24%	29%	10%	3%	0%	100%
	合計	1%	14%	18%	29%	20%	13%	5%	0%	100%
合計	男性	4%	14%	18%	34%	10%	13%	6%	1%	100%
	女性	3%	17%	21%	18%	25%	10%	5%	2%	100%
	合計	3%	15%	20%	27%	17%	12%	5%	1%	100%

② 居住地

- ・回答者の居住地は8月、9月ともに淡路島以外の兵庫県（それぞれ34%、37%）と大阪府（同33%、34%）が多く、淡路島（同13%、8%）とこれら以外の近畿（同7%、12%）を合わせると8月は87%、9月は91%となった。（表-14）
- ・遠方では関東や九州からの来訪も数名見られた。

表-14 居住地別サンプル数

< 細分類 >

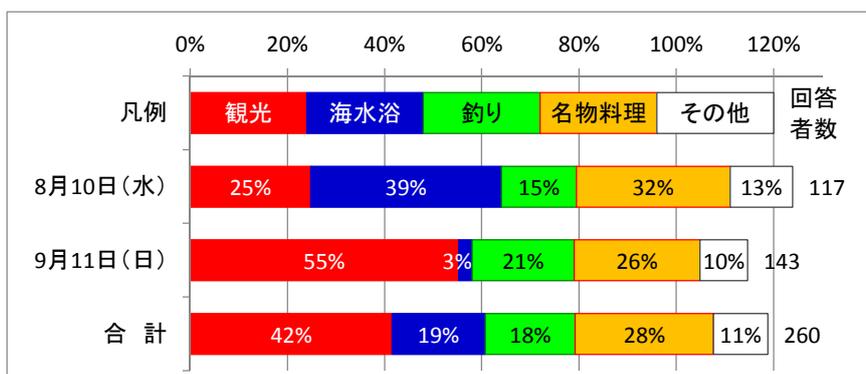
< 集 約 >

	8月10日(水)		9月11日(日)			8月10日(水)		9月11日(日)	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比		回答者数	構成比	回答者数	構成比
南あわじ市	5	4%	5	3%	淡路島	15	13%	11	8%
洲本市	6	5%	2	1%	兵庫県(淡路島以外)	40	34%	53	37%
淡路市	4	3%	4	3%	大阪府	39	33%	49	34%
尼崎市	8	7%	0	0%	近畿(兵庫・大阪以外)	8	7%	17	12%
伊丹市	2	2%	0	0%	関東	4	3%	2	1%
西宮市	2	2%	2	1%	東海	2	2%	0	0%
芦屋市	0	0%	1	1%	中国	2	2%	3	2%
三田市	2	2%	0	0%	四国	3	3%	0	0%
神戸市	16	14%	27	19%	九州	1	1%	1	1%
明石市	0	0%	8	6%	無回答	3	3%	7	5%
三木市	1	1%	0	0%	合計	117	100%	143	100%
小野市	2	2%	0	0%					
加古川市	4	3%	0	0%					
高砂市	2	2%	3	2%					
姫路市	0	0%	6	4%					
養父市	0	0%	2	1%					
兵庫県	1	1%	4	3%					
大阪市	9	8%	25	17%					
大阪府下	30	26%	24	17%					
滋賀県	3	3%	0	0%					
京都府	1	1%	7	5%					
奈良県	4	3%	10	7%					
埼玉県	3	3%	1	1%					
東京都	1	1%	1	1%					
愛知県	2	2%	0	0%					
岡山県	0	0%	3	2%					
鳥取県	2	2%	0	0%					
徳島県	1	1%	0	0%					
高知県	2	2%	0	0%					
福岡県	0	0%	1	1%					
熊本県	1	1%	0	0%					
無回答	3	3%	7	5%					
合計	117	100%	143	100%					

(2) 来訪目的

- ・来訪目的を見ると、8月は海水浴が多く（39%）、9月は観光が55%を占めた。
- ・名物料理と釣りは、8月、9月ともにそれぞれ30%前後、20%前後であった。
- ・海水浴は夏季に特化する（集中する）が、鱧料理や釣りに適したシーズンには一定割合の来訪者が居ることが伺える。（図-37）

図-37 調査日別・沼島への来訪目的の構成比

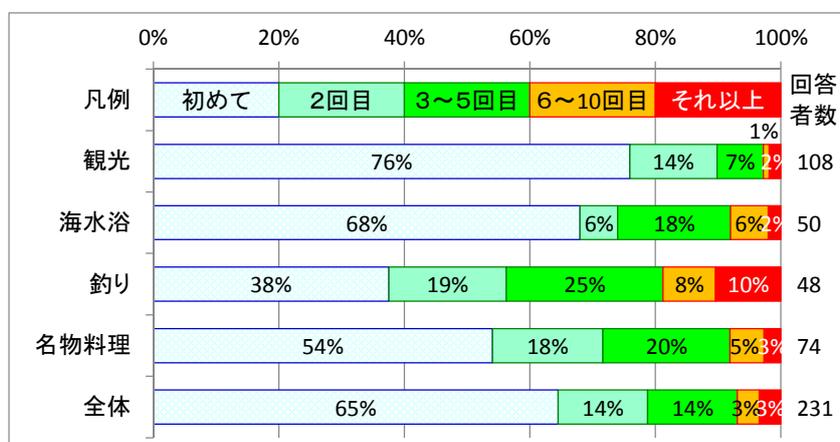


注：複数回答のため構成比の合計は100%を超える。

(3) 来訪回数

- ・沼島への来訪は全体の65%が初めての来訪であった。また、2回目と3～5回目がそれぞれ14%であり、6回以上の来訪経験のある人は全体の6%であった。（図-38）
- ・来訪目的別に見ると、釣りは今回が初めてという人は38%で、リピーター（2回以上の来訪経験者）が62%を占めた。11回以上も10%に及んだ。
- ・次いで、名物料理も半数弱（46%）がリピーターであったほか、海水浴では約4分の1（26%）が3回以上の来訪経験者であった。
- ・このように、海や名物料理などの観光資源を目指して来訪するリピーターは少なくない。

図-38 来訪目的別・沼島への来訪回数の構成比

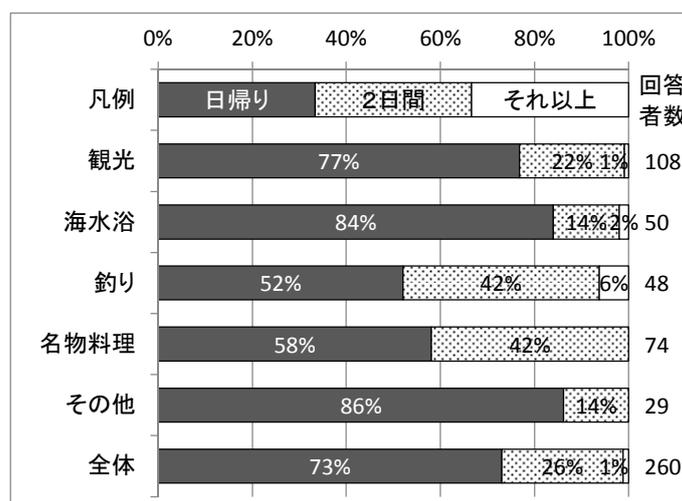


注：来訪目的が複数回答のため、回答者数の合計は全体を上回る。（以下同様）

(4) 滞在日数

- ・沼島への来訪者の滞在日数は、全体の73%が日帰り、26%が2日間であった。3日以上滞
在者はわずか（1%・3人）であった。（図-39）
- ・来訪目的別には、釣りや名物料理で2日間またはそれ以上滞在する人の割合が相対的に高い。

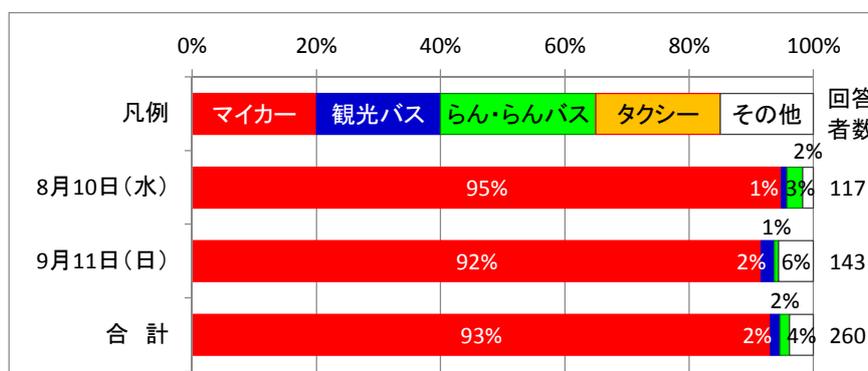
図-39 来訪目的別・滞在日数の構成比



(5) 土生港までの交通手段

- ・土生港までの淡路島側の交通手段は、90%以上がマイカーであった。らん・らんバスや観光
バスの利用は1~2%であり、タクシーは皆無であった。（図-40）
- ・その他の多くはレンタカーである。

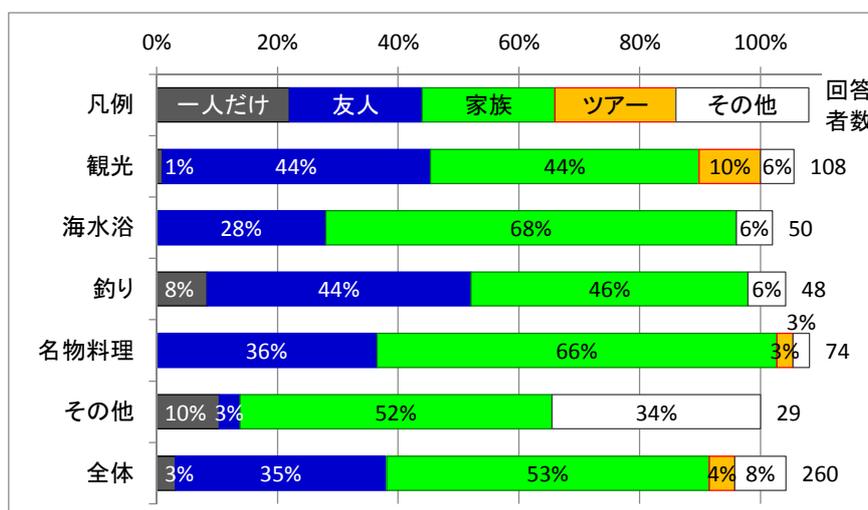
図-40 調査日別・土生港までの利用交通手段



(6) 同行者

- ・同行者について見ると、全体の53%が家族、35%が友人であった。(図-41)
- ・海水浴や名物料理では家族の割合が相対的に高く、観光や釣りでは友人の割合が相対的に高い。
- ・その他は、社員旅行や職場の同僚との業務目的での来訪が大半である。

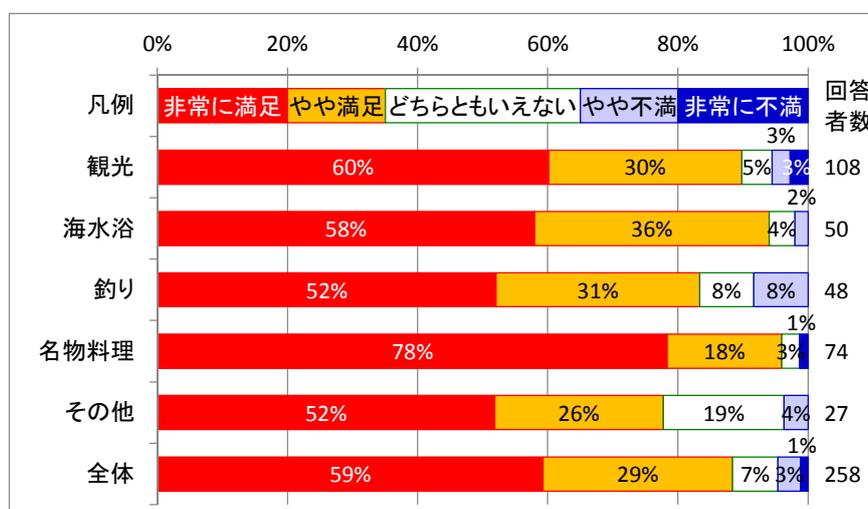
図-41 来訪目的別・同行者の属性



(7) 沼島に対する満足度

- ・沼島について、全体の59%が非常に満足、29%がやや満足と回答し、これらを合わせると88%に及んだ。非常に不満は1%、やや不満は3%に留まった。(図-42)
- ・来訪目的別には、名物料理を目的とした来訪者の満足度が最も高く(非常に満足78%、やや満足18%)、釣りでは非常に満足は52%にとどまり、やや不満が8%に達した。

図-42 来訪目的別・沼島の満足度



(8) 沼島や沼島航路に関する意見

沼島や沼島航路について自由に意見の記述を求めたところ、169 人から回答が得られた。意見を分類するとともに、調査月、回答者の居住地、来訪目的とともに一覧表に整理して（表-15）に示す。

概観すると、海の美しさや鰻料理への評価、静かな環境などに対して好感を抱いた意見が多数寄せられた。一方で、沼島航路について、増便を求める意見が多数みられたほか、他の地域と結ぶ航路の運航を求める意見も少なからず見受けられた。また、沼島の島内については、食事のできる場所や自動販売機の設置、トイレの整備などの施設整備に関する意見が散見されたほか、島内の移動手段の充実を求める声などがあつた。そのほか、土生港へのアクセスやらん・らんバスとの接続改善などに関する意見も見られた。

表-15 沼島や沼島航路に関する自由意見

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
好感	9月	大阪府下	観光	「何もない」という所が魅力です。レンタサイクルがあればもっと楽しいと思います。
	8月	鳥取県	観光	あいさつが良いし、人間性を感じる。
	9月	奈良県	名物料理	あまり観光化されていないところがよい。落ち着ける旅館があつた。静かなところがよい。現状のままで！（改善点）廃棄すべき鉄くず、木材等が道に転がっている→環境を整えるべき。
	8月	淡路市	その他	改めて沼島の良さを再認識できた。その上で、本航路の重要性についても再認識した。これがなくては沼島に行けないし、沼島島民も道が寸断されたのと同じ。
	9月	神戸市	観光	いい景色でした。
	8月	愛知県	観光	ウォーキングをするには軽装すぎました。道が草ボウボウ。風が気持ちよく海も景色もきれいでとてもよかったです。
	8月	三田市	海水浴 名物料理	海がきれい。鰻料理がとてもおいしい。
	9月	奈良県	観光 名物料理	海がきれいだった
	8月	神戸市	海水浴	海がきれいだった。
	9月	姫路市	観光	海がきれいで、遊歩道も整備されていて歩きやすかった。船もきれいで快適でした。またゆっくり来たいです。
	8月	南あわじ市	その他	海がきれいです。
	9月	神戸市	観光 名物料理	海がきれいなのがびっくりしました。島全体がのどかで、また来たいと思う場所になりました。
	8月	大阪府下	海水浴 名物料理	海がきれいで人が少なかったのが楽しめました。鰻もおいしかったです。
	8月	南あわじ市	その他	海風が気持ちよかったです。景色がきれいだった。
	9月	神戸市	観光 海水浴 釣り	海がとてもきれいだった。次はもっと早い時間に来て泳ぎたい。

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
好感	8月	神戸市	海水浴 名物料理	海がとてもきれいで子供連れでも安心して遊べるので夏の定番にしています。ハモもとてもおいしかったです。
	8月	埼玉県	海水浴	海がとてもキレイでした！！「うみのみずがきれいでしたのしかった！！6さい、ねね」
	8月	神戸市	海水浴	海がとてもきれいでした。人も少なくよかったです。海水浴場のシャワーが無料で使えたのが助かりました。
	8月	神戸市	海水浴	海にゴミがなくてキレイだった。人の量も多すぎず、少なすぎず、楽しく過ごせました。
	8月	神戸市	海水浴 名物料理	海や景色がすごくきれいだった。楽しかったです。
	9月	大阪市	名物料理	美味しいお料理をいただき大変満足しています。かわいい孫と一緒に来て楽しかったです。
	9月	埼玉県	観光	おのころ神社が良かったです。
	8月	大阪府下	海水浴 釣り	会社の保養所があり、ここ数年時々利用しています。
	8月	神戸市	海水浴	海水浴は初めてでしたが、砂浜もきれいで快適で楽しいものになりました。
	8月	南あわじ市	その他	快適にすごせてよかった。
	9月	神戸市	観光	気持ちがゆっくりできて良かった。
	9月	神戸市	観光	くにうみ、伝説を感じました。
	9月	姫路市	観光	このままそっとしてほしい島。リゾート開発などはやめてほしい。（地元の人が望んでいるなら話は別ですが）。
	8月	大阪府下	観光	静けさと大自然がよし。
	8月	尼崎市	海水浴	自然がたくさんあって良かったです。きれいでしたが、海の中に白い浮遊物が多かったので、少しもったいなさを感じました。
	9月	神戸市	観光 名物料理	島の人がみんな優しくかった。はもが美味しかった。
	8月	東京都	海水浴 名物料理	シャワーが使えてすばらしい。キャンプ地があれば良い。
	9月	淡路市	観光	十分満足です。
	9月	神戸市	観光	乗船時間が短いのは利便性としてはとても良いけれど、できればもっとゆっくり乗りたいくらい景色もよく心地よかったです。ありがとうございました。
	9月	大阪市	観光	人工的な音の無い静かで風光明媚な島でした。また来ます！
	9月	東京都	観光	伝説（伝承）にふさわしい風景に出会えて感動しました。
	9月	京都府	観光	とてもいやされました。（パワースポットでした。）上立神社が特に良かったです。
	8月	大阪府下	観光 釣り	とても静かな海だったので釣りを楽しめました。地元の方にもやさしくしていただきました。
	8月	伊丹市	海水浴 名物料理	とても満足しています。
	8月	鳥取県	観光	人情が素晴らしい。
	8月	大阪市	観光	のどかな風景でよかった。もう少し涼しいときにまた来たいと思った。

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
好感	8月	滋賀県	名物料理	ハモ美味しい。伊勢エビももっとPRすべき。
	8月	大阪府下	名物料理	鱧のフルコースをいただきました。新鮮な魚と都会のビルの中、まちじゅうの賑やかさから久しぶりに静かなひと時を過ごしました。ただ、交通の便の不自由さは仕方ないのでしょうか。
	9月	大阪市	観光 名物料理	ハモ料理おいしかった！クルーズもよかった。
	8月	高知県	名物料理	ハモ料理おしかった。量も十分あった。
	9月	大阪府下	観光	人が温かかったです。また来たいと思いました。
	8月	神戸市	海水浴	人が少なくよかった。お店がもう少しあれば良い。ハモを食べた店がひどかった（しらさき）。観光にもっと力を入れるべき（特徴がハモしかない）
	9月	大阪市	観光 名物料理	人がとても親切でした。魚が新鮮でおいしい。静か。
	8月	大阪府下	海水浴 釣り	人も少なくゆっくりとできました。設備もとのっぴりよかったです。ゴミがきちんとリサイクルされていて、島がきれいかったです。
	8月	大阪府下	海水浴	マイビーチの様でよかった。
	9月	大阪市	観光	また来たいです。このフェリーが唯一の交通手段なのでなくさないで。
	8月	伊丹市	海水浴 名物料理	満足しています。
	9月	神戸市	観光	ゆったり、気分が良くなりました。
9月	大阪市	名物料理	ゆったりできて本当によかったです。温泉施設があれば最高です。	
総合	8月	神戸市	海水浴	9:00～10:30の間に便がほしかった。海が美しかった。食事に困った。シャワーが助かった。
	9月	大阪府下	観光	往復便がもっと欲しい。レンタル自転車を貸し出してほしい。屋根付きベンチを多くしてほしい。喫茶店がほしい。
	9月	京都府	観光	街並みを散策する人も多かったが、誘客の対応がない。トイレもない。空き家も多く見られたが、その対策。人口500人弱と聞いているが、人口増加策。
便数・ ダイヤ	8月	大阪府下	名物料理	11:50の船に乗り、14:50の船で帰りました。上立神岩を見に行きましたが、時間がなく駆け足で何とか見れた。あと30分船が遅ければもっとゆっくり見れたと思います。
	8月	南あわじ市	その他	12時台の便があればいい。
	8月	徳島県	海水浴	1時間に1本くらい便があれば待ち時間を減らせたと思う。（小さい子供がいるので）
	9月	大阪府下	その他	1時間に1本くらい便があれば良いのですが。
	9月	大阪府下	その他	1時間に1本便があればうれしいです。
	8月	大阪府下	名物料理	朝と夕方の便がなくて選択肢が限られる。朝ととも慌てた。海が穏やかなので乗りやすい。
	8月	加古川市	釣り	朝の便をもう少しからあってほしい。最終便も遅くの便がほしい。
	8月	大阪府下	海水浴	海がきれい。船の本数がもう少しあるとうれしい。
8月	大阪府下	観光	遅い便があればゆっくりできた	

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
便数・ダイヤ	8月	三木市	観光 名物料理	時間当たり1便あれば。
	9月	奈良県	その他	時刻表について、14:40～16:00まで便を1本増やしてほしい。土日限定でもいいので。
	9月	大阪市	名物料理	時刻表を見ると1時間に1本くらいで、繁忙期には半時間に1本くらいあればと思います。
	8月	洲本市	観光	素晴らしいところだった。もう少し便があればよいと思った。
	8月	西宮市	釣り	早朝の便や深夜便があるとよい。
	9月	明石市	観光 名物料理	定期便の本数増を！
	9月	南あわじ市	釣り	土・日・祝日に、沼島行き、朝早い便を出してほしい！
	9月	奈良県	観光	土・日はもう少し便があるといいです。
	9月	洲本市	釣り	土生発が19:30の便があれば。
	9月	姫路市	釣り	早い便があればうれしい！！店があれば。
	9月	淡路市	釣り	便数を増やしてほしい
	8月	淡路市	観光	便数を増やしてほしい。淡路島からの標識がないのでわかりづらい。
	9月	神戸市	観光 名物料理	便数をもう少し増やしてほしい。
	8月	大阪府下	釣り	便の間隔が大きすぎる。
	8月	淡路市	その他	便を増やしてほしい。土生港までの案内表示を増やしてほしい。沼島内での遊歩道を整備するなど、見所を訪ね易くしてほしい。
	8月	奈良県	観光	便をもう少し増やせばいいと思う。
	9月	大阪府下	観光	船便を1時間に1本出してほしいです。
	9月	大阪府下	海水浴	船の便数を日曜だけでも増やしてほしい。
	9月	大阪府下	観光	もう少しおそい便があれば。
	9月	姫路市	観光	もう少し遅い便があれば good
	9月	姫路市	観光	もう少し遅い便があればいいかな。
	8月	大阪府下	海水浴 釣り	もう少し遅い便があれば良い。
	8月	神戸市	釣り	もう少し遅い便がほしい。
	9月	兵庫県	名物料理	もう少し小さい船でもいいので、その分便数を増やしてはどうでしょう。料金も少し高いと感じます。
	9月	洲本市	釣り	もう少し早い便ああればいいです。
	8月	神戸市	観光 名物料理	もう少し便があれば待ち時間が少しですむのでは。
	8月	大阪府下	海水浴	もう少し便数があれば助かります。車で来ると時間が読めないため。1時間に1便ほしい。
	8月	神戸市	名物料理	もう少し頻繁に運航があれば。
	8月	大阪府下	名物料理	もう少し便を増やしてほしい。
	9月	大阪市	観光	もう少し便を増やしてほしい。
9月	奈良県	観光	もう少し便を増やしてもらおうとありがたい。	
9月	大阪府下	その他	もっと便を増やしてほしい。	

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
便数・ダイヤ	8月	大阪市	観光 海水浴 釣り	夜の便、ex) 22:00 発などがあれば、花火なども楽しめそう。
航路	9月	大阪市	観光	あまり揺れずに快適でした。
	9月	高砂市	釣り	海がきれいで楽しかった。島もきれかった。土生以外にも航路があればよい。
	8月	大阪府下	名物料理	大阪から少し足を延ばせば自然豊かな離島があり、船で10分程度の距離はちょうど程よい。神戸港や大阪・和歌山からも船があれば。
	9月	芦屋市	観光 名物料理	おだやかな島で国生みの島といわれる空気を感じました。洲本からの便があると便利です。土・日の便数を増やしてほしい。
	9月	大阪府下	釣り	洲本～沼島が無くなったのが残念。
	9月	神戸市	観光 名物料理	土生から直接沼島を観光できる船があればいい。
	8月	高砂市	名物料理	船のにおいが気になりました。
	9月	無回答	釣り	料金が高い。自転車の料金の支払時の金額があいまい。設定はないのか？
施設	9月	大阪府下	観光	飲食店がほしい。(名物など)。レンタサイクルでサイクリングコースがほしい。
	8月	大阪府下	海水浴	海がきれいだった。更衣室もあり便利だった。お昼や軽食が気軽に食べられる場所がほしかった。
	8月	大阪市	観光 海水浴	海が透明と聞いて来たけど、思ったよりきれいじゃなかった。コインロッカーがあればいいと思った。
	8月	神戸市	海水浴	海の家、せめて自動販売機があればよかったが、人もほどよく少なくて良かった。
	8月	大阪府下	海水浴	海もきれいで非常にすいており、ゆっくり出来た。来年も来ようと思います。宿泊できるところが少ない。
	9月	大阪市	観光	お店が多かったら良かった。景色は最高！！
	9月	神戸市	観光	観光センターが閉まっている。1時間に1便しかない。観光案内が(タクシーなど)もっとあれば助かる。少しの時間をつぶせる場所がない。
	9月	奈良県	観光	観光タクシーがあればいいのになぁ・・・もっと幅広い観光客(体力に自信がない等)が訪れ易いと思います。
	9月	神戸市	釣り	景色がすばらしいです。お店(カフェ等)が少しあったらいいなと思いました。
	9月	大阪府下	海水浴 釣り	時間が15分くらいならうれしい。トイレの開放をお願いします。(夏季以外の海水浴場のトイレ)
	9月	大阪府下	海水浴	時刻表の発着時間を間違えたので、色分けなど工夫を！！沼島にもコンビニを。
	8月	加古川市	名物料理	地元のお土産を販売してほしい。船は観光とセットの便があったらよい。
	8月	大阪市	海水浴	食事がおいしかった。しかし、予定より早く店を閉めてたので、もう少し遅く行けばごはんが食べれないところだった。
9月	神戸市	釣り	食事の施設があれば良い	

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
施設	9月	大阪市	名物料理	新鮮な魚が食べられ満足しました。土生の待合所をもう少し美しくしてほしいです。
	8月	大阪市	海水浴	すいてて良かったです。海の家でパラソルのレンタルやお昼ごはんが食べられれば、荷物を減らせた。
	9月	明石市	名物料理	スナックに行きたい。プールに行きたい（子供）
	9月	神戸市	釣り	銭湯があればとてもうれしい
	9月	神戸市	観光	近くにつりえさ屋さんがあったら嬉しい。食堂も。
	9月	大阪市	釣り	トイレがあれば超満足だ。
	9月	大阪市	釣り	トイレが使えない。トイレがないので不便でした。
	8月	尼崎市	釣り	トイレの場所を増やしてほしい。
	9月	神戸市	観光	島内の案内表示をもう少しわかりやすくしてほしい。船待ちのターミナルで時間がつぶせるよう工夫がほしい。
	9月	大阪府下	観光	島民の皆様方が親切で快適に楽しめました。下船後、案内板の標記がもう少しわかりやすければ嬉しく思います。
	8月	大阪府下	海水浴	沼島の中で食事、休める場所があるといい。
	8月	小野市	観光 名物料理	鱧を食べに来たが、休み・貸切で入れなかった。案内所が休みで同じくらい歩くなら宮嶋がマシ。休む所（食事や物販）が全くないため、夏に観光するところじゃない。というより、観光地なのか疑問。暑い、いろいろ遠い。もう来ない。すすめない。
	8月	神戸市	海水浴 名物料理	ビーチに自販機があれば助かる。
	9月	神戸市	釣り	夜に遊べるところがほしい。
	9月	明石市	釣り 名物料理	夜に遊べるところがほしい。
	9月	神戸市	観光	夜に遊べるところを作ってほしい。
	9月	南あわじ市	名物料理	料理がおいしかった。土生の待合所をもう少しきれいにして下さい。
交通手段	8月	大阪府下	観光	上立神岩までの道を整備してほしいです(T_T)
	8月	大阪府下	観光	上立神岩までの道を整備してほしいです(T_T)
	9月	岡山県	観光	車の駐車場が高い。島での交通手段が全くない。海がきれいだった。
	8月	滋賀県	名物料理	交通の利便性がもう少し良ければうれしいです！！
	8月	神戸市	観光	島に到着してからの交通手段がなく、暑いときにずっと歩きだったので辛かった。
	9月	淡路市	観光 釣り 名物料理	島の移動が少し不便。トイレが海水浴場から遠い。16:00以降使える場所。レンタサイクルがあればいい。
	9月	大阪府下	観光	道を整備してレンタサイクル等を始めると良いのでは。あと船の本数をもう少し増やしてほしい。
	9月	無回答	釣り	無料貸出自転車か一輪車を出してほしい。
	9月	大阪府下	観光	レンタサイクルなど島内での移動方法の充実。船内テレビで島内コンテンツの紹介など。
	9月	高砂市	観光	レンタサイクルを作ってもらいたいです。（1日100円とかで）

分類	調査月	居住地	来訪目的	意見の内容
案内	8月	熊本県	その他	淡路から沼島への港を明確にされるとなおいと思います。当初洲本港へ行き、尋ね尋ねてたどり着きました。
	9月	京都府	観光	もう少し詳しい地図がほしい。観光名所をもう少しきれいにした方がいいと思います。
アクセス	9月	大阪市	名物料理	実家が沼島で帰省するのにバスの便が不便で大変こまります。マイカーもないので実家の年寄りが家から来るのも大変です。何か補助してバスの便を良くして下さい。
	9月	大阪府下	その他	土生までのアクセスが車でないと不便。
	8月	滋賀県	名物料理	らんらんバス→船が3分。10分くらいほしいです。
その他	8月	京都府	観光	HP等で猫の島との記事を読んで来たが、一匹もいない。残念。(欄外注記)
	8月	尼崎市	海水浴	海に期待し過ぎていた。
	9月	神戸市	観光	おそらくもう来ない。
	9月	無回答	名物料理	お土産ものがあつたらよかった。はも茶づけなど日持ちするものがあれば買いたかった。
	8月	愛知県	観光	観光資源(古い歴史など)を利用して、もう少し観光客を呼び寄せる島おこしを努力したらどうか(海水浴、釣り以外)。航路も洲本温泉からの利用ができないか。
	8月	奈良県	観光	ギリギリでも乗れたのでよかった。
	9月	姫路市	観光	国生みの神話の島として観光に力を入れてほしい。観光案内のボランティアとかあれば楽しめます。
	8月	小野市	観光	食を楽しみに来たが、全く入れなかった。マップを見てきたが、移動手段はないし、案内も無く、初めて来れる所ではない。
	9月	高砂市	釣り	釣り場まで遠い。漁師が平気で前を通るのでしにくい。
	9月	大阪府下	その他	沼島の活性化に民泊でインバウンド効果、一緒にしませんか？
	8月	奈良県	観光 海水浴	バーベキュー跡があつたり、バーベキューをしている人達がいて残念。海のあり方を大切にして美しい海を守るために頑張ってもらいたい。1人いくらかの利用料を取るとか。島の人たちのためになればいいと思う。
	8月	大阪府下	海水浴	船着場からビーチがもう少し近ければよい。
	8月	高砂市	名物料理	船はよし。沼島がもう少し観光地化されてもよいかな。見てまわる所が少なくさびしいよ。船運賃がもう少しリーズナブルならね。
	8月	奈良県	海水浴	マリンスポーツがあれば良かった。
	9月	大阪府下	名物料理	マリンスポーツをできるようにしたらいいと思う。楽しかった。
9月	兵庫県	観光	もう少し観光に力を入れたらいいのに！！と少しもったいない気持ちになりました。	

注：(欄外注記と付した意見について)琵琶湖の沖島と勘違いされている可能性がある。

1.5 調査結果のまとめ

以上に示した2つのアンケート調査の結果から得られた知見を以下に列挙する。

(1) 沼島航路の利用に関するアンケート調査

① 沼島住民の日常生活について

- ・沼島では島内で従業する人の割合が高い。また、淡路島に通学する高校生も限られている。このため、沼島航路を通勤・通学で利用する人は少なく（通勤は回答者の8%、通学は2%）、買い物や通院をはじめとする私用での利用が大半を占める。
- ・沼島航路を利用する沼島住民の主な行き先は南あわじ市内が中心で、大規模商業施設が立地する賀集や病院がある神代が主な目的地である。また、洲本市内を目的地とする人も少ない。
- ・これらの目的地への外出回数を数量化すると、平日・休日ともに賀集、洲本、神代の順となる。
- ・淡路島での交通手段は、60代以下では概ね60%以上がマイカー（自分で運転）であるが、70代、80代ではらん・らんバスや路線バスの利用が60%を超える。

② 洲本線休廃止の影響について

- ・洲本市内への外出頻度は、月に2～3日や月に1日という回答が多い。30～50代はその頻度が相対的に高く、60代・70代では少なくなる。
- ・従前の沼島汽船洲本線の利用について、回答者の81%は洲本線の運航日でも灘線を利用して土生から洲本に行っていた。
- ・一方で、洲本線の運航日に合わせて洲本に行っていたという人は23人（回答者全体の12%）であった。その多く（年齢を回答した14人のうち11人）は60代以上であり、80歳以上も2人含まれる。
- ・洲本線を利用していたこの23人に着目すると、70%近くが洲本線の休廃止による影響として、「洲本の病院に行けなくなった、洲本に買い物や遊びに行く回数が減った」と回答した。
- ・また、今も洲本に行く機会がある人の淡路島側での利用交通手段はらん・らんバス、路線バスがほとんどであった。
- ・このような背景のもとで、洲本に行く際に、土生港から洲本までバスに乗車するのがつらい、バスへの乗り換えが面倒という人がそれぞれ78%、67%に及んだ。

③ 今後の沼島航路の運営について

- ・今後の沼島航路の運営を維持する上で重要なこととして、沼島航路の便数を維持するという意見が最も多かった。次いで、陸上交通（らん・らんバス）との接続便数の維持という回答

が多かった。高齢者を中心に、淡路島側の目的地まで土生港からバスを利用する必要のある人が多いことが反映されていると考えられる。

- ・沼島航路の利便性向上のための自由意見として、運賃の値下げや便数・運航時間帯に関する意見のほか、らん・らんバスとの接続改善を求める意見などが多く見られた。

(2) 沼島航路利用実態調査の結果

- ・沼島への島外からの来訪者は、兵庫県や大阪府など近隣の居住者が多い。
- ・8月は海水浴、9月は観光を中心に、名物料理や釣りなどを目的とした来訪者が多い。
- ・回答者の65%は初めての来訪であったが、釣りや名物料理ではリピーターが半数前後を占める。
- ・全体の73%は日帰りであるが、釣りや名物料理の40%余りは宿泊している。
- ・全体の59%が非常に満足、29%がやや満足と回答するなど、沼島に対する満足度は高い。
- ・沼島が評価される点として、多くの人がきれいな海や自然環境、鱧料理などを挙げているが、静けさや何もないこと、人情などを評価する意見も見られる。
- ・一方で、沼島島内の移動手段の整備や、飲食・物販施設、自動販売機、トイレの整備などを求める意見が少なからず見られた。

2. 国・自治体による支援策の整理

離島航路は、過疎化の進行に加えて、燃料費、修繕費等運航コストの高騰等により厳しい環境に置かれていることから、国や自治体から支援が行われている。ここでは、離島に関連する国の支援策および沼島航路に関連する自治体の支援策について、その概要を整理する。

(1) 国による支援策等

離島に関連する国による補助事業や支援策について、表-16に整理する。また、関連する図表を以下に示す。（表-17、図-43）

表-16 国による補助事業や支援策の一覧

事業や支援策の名称等	概要
1. 地域公共交通確保維持改善事業（国土交通省）	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省が、生活交通において存続の危機に瀕している唯一かつ赤字の航路に対し、地域の多様な関係者からなる協議会での議論を経て作成された「生活交通ネットワーク計画／離島航路確保維持計画」に基づき実施される取組みに対し、離島航路への運営費補助を行い、島民生活に必要な離島航路の確保・維持を支援する事業。
(1) 離島航路運営費補助事業	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体（都道府県・市町村）、交通事業者、国（地方運輸局）、住民や利用者代表等で構成する「地域協議会」において策定した「生活交通ネットワーク計画（離島航路確保維持計画）」に基づき、航路運営に係る補助対象経費の1/2以内を国が補助する。 また、「生活交通ネットワーク計画（離島航路確保維持計画）」に基づき、離島航路事業者が離島住民を対象として、寄港地のバス運賃を限度とする運賃割引を実施する場合、割引した差額の1/2を国が補助する。
(2) 離島航路構造改革補助	<ul style="list-style-type: none"> 「生活交通ネットワーク計画（離島航路確保維持計画）」に基づき、船舶の公設民営化、省エネ・小型化船への代替建造等を行う場合、その費用の一部を国が補助する。
2. 離島活性化交付金（国土交通省）	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月に全面施行された改正離島振興法を踏まえ、離島における地域活性化を推進し、定住の促進を図るために創設した離島活性化交付金により、海上輸送費の軽減等戦略産業の育成による雇用拡大等の定住促進、観光の推進等による交流の拡大促進、安全・安心な定住条件の整備強化等の取組みを支援する事業。
3. 離島漁業再生支援交付金（農林水産省）	<ul style="list-style-type: none"> 離島振興法で指定された離島及び沖縄・奄美・小笠原各特措法の対象地域のうち、航路時間で概ね30分以上離れているなどの離島、市町村が策定する市町村離島漁業集落活動促進計画に基づいて、集落協定を締結した漁業集落を対象として、漁業集落内で漁場の生産力向上と利用に関する話合を行い、その結果策定された「集落協定」に基づいて実施される次の活動を支援の対象行為とする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 漁場の生産力の向上と利用に関する話合 (2) 漁場の生産力の向上に関する取組み（毎年度一つ以上実施） <ul style="list-style-type: none"> 種苗放流、漁場の管理・改善、産卵場・育成場の整備（柴、竹、築いそ等）、水質維持改善（養殖漁場の水質調査等）、植樹・魚付き林の整備、海岸清掃、海底清掃、漁場監視、その他 (3) 集落の創意工夫を生かした取組み（毎年度一つ以上実施）

事業や支援策の名称等	概要
4. 農業・林業・水産業関係交付金（産地水産業強化支援事業）（農林水産業）	<ul style="list-style-type: none"> ・産地の水産業を強化するための計画に基づき、地域が行う取組みに対し総合的に支援する事業。 ・水産業強化支援事業では、協議会が策定した計画に基づいて実施する地域漁業の課題克服へ向けた積極的な取組みを総合的に支援を行うこととされている（補助は1／2以内）。
5. 離島に居住する妊婦が健康診査を受診するための交通費等の支援に係る地財措置（厚生労働省）	<ul style="list-style-type: none"> ・改正離島振興法に「妊婦が健康診査を受診し、及び出産に必要な医療を受ける機会を確保するための支援」が盛り込まれたことに従い、平成25年度より、妊婦の健康診査又は出産に係る保健医療サービスを提供する病院、診療所等が設置されていない離島に居住する妊婦の健康診査受診時・分娩時にかかる交通費及び宿泊費の支援に要する経費につき、特別交付税措置を講じるもの。
6. へき地児童生徒援助費等補助金のうち離島高校生修学支援事業（文部科学省）	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地教育振興法及び離島振興法に基づき、交通条件及び自然的、経済的、文化的諸条件に恵まれない山間地、離島等のへき地学校の児童生徒を対象として、都道府県及び市町村が負担するスクールバス・ボート等購入費、遠距離通学費等、保健管理費及び離島高校生修学支援費に要する経費について、国がその一部を補助することにより、これらの負担を軽減し、教育水準の維持向上を図る事業。 ・スクールバス・ボート等購入費、遠距離通学費等、保健管理費及び離島高校生修学支援費に要する経費について、都道府県及び市町村が負担する場合に国がその一部を補助することとされている。
7. 離島ガソリン流通コスト支援事業（資源・エネルギー庁）	<ul style="list-style-type: none"> ・本土に比べて割高な離島のガソリン小売価格を実質的に下げることが目的として実施する事業。販売店が離島の消費者等にガソリンを値引き販売した場合、その値引き分を国が販売店を対象に補助を行う。 ・販売店が存在する離島は全て補助対象となるほか、販売店が存在しない離島であっても、島外の販売店がガソリンを輸送しているなど島で消費されることが明確な場合は補助の対象となる。 ・ただし、離島住民等が本土販売店でガソリンを購入しているケースは、補助の対象外となる。 ・自動車用だけでなく、農業用や漁業用のガソリンも補助の対象となり、また観光客が購入するガソリンも補助対象となる。

(2) 自治体による取り組みや支援策

兵庫県や南あわじ市による取り組みや支援策について表-18に示す。

表-18 兵庫県や南あわじ市による取り組みや支援策の一覧

事業や支援策の名称等	概要
1. 離島振興計画（兵庫県）	<ul style="list-style-type: none"> ・改正離島振興法に基づく、兵庫県の離島振興の基本となる計画。 ・県内離島地域が急速な過疎化や高齢化の進行に加え、基幹産業である一次産業の停滞などの課題を抱える中、産業基盤や生活基盤のより一層の向上を図り、交流人口や定住人口の増加に向けた取り組みを推進し、離島地域の自立的な発展を促進するため、今後の離島振興の基本となる方向と具体的施策を示す「兵庫県離島振興計画」を策定。
2. 沼島地区解体家屋廃材海上輸送費補助金（南あわじ市）	<ul style="list-style-type: none"> ・沼島地区において家屋の解体、建て替え又は修繕の際に発生する廃材の海上輸送に高額な費用が必要となるため、廃材を処理業者に引き渡すために行う海上輸送に対し、海上輸送費を負担した者を対象に、解体家屋廃材海上輸送費補助金を交付する。
3. 沼島デイサービス事業（南あわじ市）	<ul style="list-style-type: none"> ・沼島地区に居住するおおむね65歳以上の高齢者を対象に、通所による食事及び日常動作訓練等各種サービスを提供することにより、高齢者等の健康的な生活の保持、心身機能の維持向上による要介護状態の予防、社会的孤立感の解消を図るとともに、いつまでも地域でいきいきと生活できるようにすることを目的として実施する事業。 ・南あわじ市沼島総合センターにおいて、下記のサービスを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 給食サービス (2) 健康チェック (3) 日常動作訓練 (4) レクリエーション ・サービスの利用は、1人週1回とし、利用した場合、利用者は1日当たり500円の利用料を負担する。

- ・なお、沼島高齢者島外通院交通費助成金（沼島地区に居住する後期高齢者医療被保険者を対象、通院1回あたり200円の交通費を助成）は沼島航路の島民割引の実施を契機に廃止された。